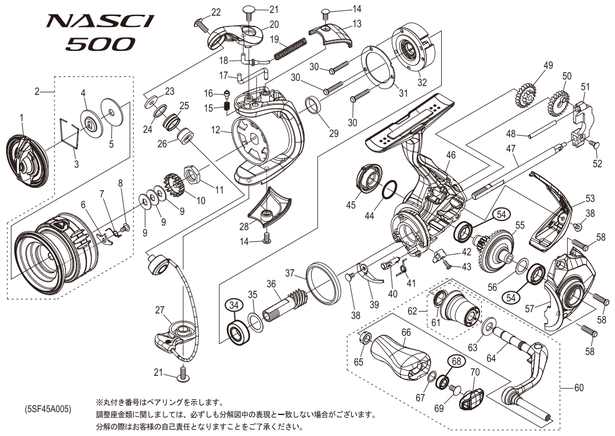
NASCI 500



(5SF45A005)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

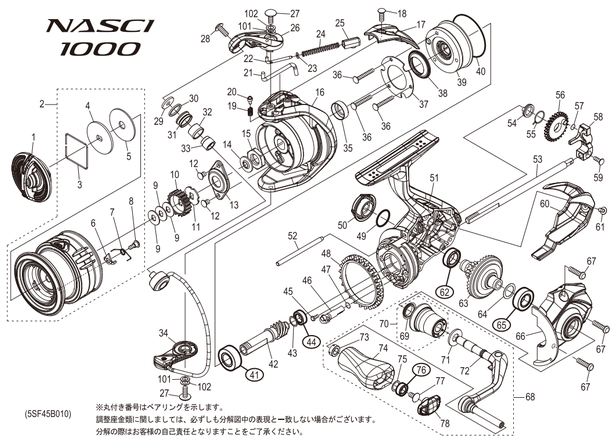
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	28	ベール取付カバー	56	座金
2	スプール組	29	ローターカラー	57	フタ
3	抜ケ止メバネ	30	固定ボルト	58	固定ボルト
4	小判座金	31	ローラークラッチカバー板	60	ハンドル組
5	ドラグ座金	32	ローラークラッチ組	61	ハンドル軸シール
6	スプールピン	34	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）	62	ハンドル軸ツバ組
7	スプールピンバネ	35	座金	63	ハンドル座金
8	固定ボルト	36	ピニオンギア	64	ハンドルシャンク組
9	スプール座金	37	フリクションリング	65	ブッシュ
10	スプール受	38	固定ボルト	66	ハンドルノブ
11	ローターナット	39	内ゲリ当り	67	座金
12	ローター組	40	ストッパーカム	68	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
13	アームカムバネカバー	41	クリックバネ	69	固定ボルト
14	固定ボルト	42	ストッパーレバー	70	ハンドルキャップ
15	音出シバネ	43	固定ボルト		
16	音出シピン	44	Ｏリング		
17	内ゲリレバー	45	ハンドルスクリューキャップ		
18	アームバネガイド（Ａ）	46	ボディ組		
19	アームカムバネ	47	メインシャフト		
20	アームカム	48	摺動子ガイド		
21	固定ボルト	49	中間ギア		
22	固定ボルト	50	摺動子ギア		
23	座金	51	摺動子		
24	スペーサー	52	固定ボルト		
25	ラインローラー	53	ボディガード		
26	ブッシュ	54	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）		
27	ベール組	55	ドライブギア	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(231130)_003

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043122

NASCI 1000



(5SF45B010)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

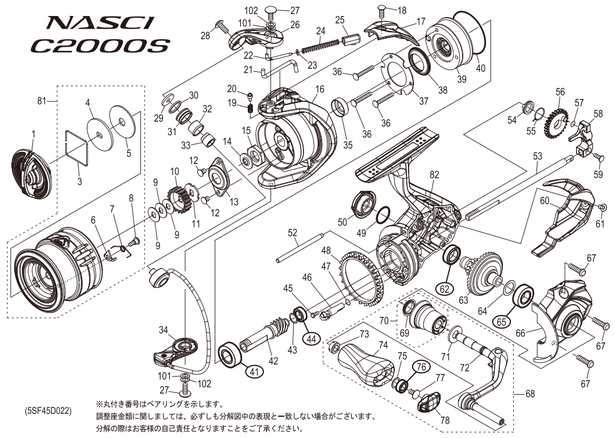
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	31	ラインローラー	61	固定ボルト
2	スプール組	32	ブッシュ	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）
3	抜ケ止メバネ	33	カラー	63	ドライブギア
4	小判座金	34	ベール組	64	座金
5	ドラグ座金	35	ローターカラー	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
6	スプールピン	36	固定ボルト	66	フタ
7	スプールピンバネ	37	ローラークラッチカバー板	67	固定ボルト
8	固定ボルト	38	ローラークラッチシール	68	ハンドル組
9	スプール座金	39	ローラークラッチ組	69	ハンドル軸シール
10	スプール受（Ａ）	40	Ｏリング	70	ハンドル軸ツバ組
11	スプール受（Ｂ）	41	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	71	ハンドル座金
12	固定ボルト	42	ピニオンギア	72	ハンドルシャンク組
13	リテーナー	43	座金	73	ブッシュ
14	ローターベアリングシール	44	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	74	ハンドルノブ
15	ローターナット	45	固定ボルト	75	座金
16	ローター	46	ストッパーカム	76	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
17	アームカムバネカバー	47	Ｏリング	77	固定ボルト
18	固定ボルト	48	フリクションリング	78	ハンドルキャップ
19	音出シバネ	49	Ｏリング	101	座金
20	音出シピン	50	ハンドルスクリューキャップ	102	座金
21	内ゲリレバー	51	ボディ組		
22	アームバネガイド（Ａ）	52	摺動子ガイド		
23	アームバネガイド（Ａ）カラー	53	メインシャフト		
24	アームカムバネ	54	ブッシュ		
25	アームバネガイド（Ｂ）	55	ブッシュバネ		
26	アームカム	56	摺動子ギア		
27	固定ボルト	57	Ｏリング		
28	固定ボルト	58	摺動子		
29	座金	59	固定ボルト		
30	スペーサー	60	ボディガード	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(230209)_005

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043139

NASCI C2000S



(5SF45D022)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

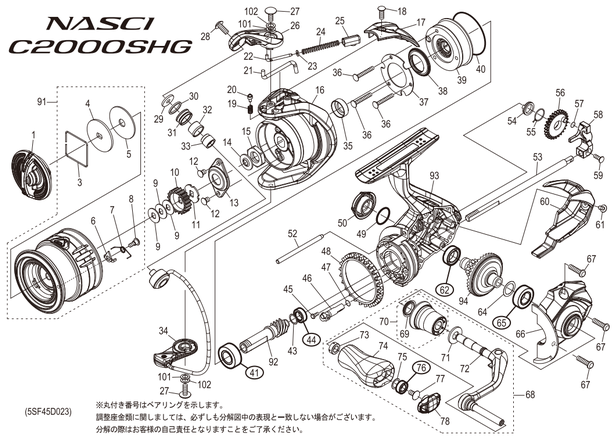
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	32	ブッシュ	63	ドライブギア
3	抜ケ止メバネ	33	カラー	64	座金
4	小判座金	34	ベール組	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
5	ドラグ座金	35	ローターカラー	66	フタ
6	スプールピン	36	固定ボルト	67	固定ボルト
7	スプールピンバネ	37	ローラークラッチカバー板	68	ハンドル組
8	固定ボルト	38	ローラークラッチシール	69	ハンドル軸シール
9	スプール座金	39	ローラークラッチ組	70	ハンドル軸ツバ組
10	スプール受（Ａ）	40	Ｏリング	71	ハンドル座金
11	スプール受（Ｂ）	41	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	72	ハンドルシャンク組
12	固定ボルト	42	ピニオンギア	73	ブッシュ
13	リテーナー	43	座金	74	ハンドルノブ
14	ローターベアリングシール	44	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	75	座金
15	ローターナット	45	固定ボルト	76	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
16	ローター	46	ストッパーカム	77	固定ボルト
17	アームカムバネカバー	47	Ｏリング	78	ハンドルキャップ
18	固定ボルト	48	フリクションリング	81	スプール組
19	音出シバネ	49	Ｏリング	82	ボディ組
20	音出シピン	50	ハンドルスクリューキャップ	101	座金
21	内ゲリレバー	52	摺動子ガイド	102	座金
22	アームバネガイド（Ａ）	53	メインシャフト		
23	アームバネガイド（Ａ）カラー	54	ブッシュ		
24	アームカムバネ	55	ブッシュバネ		
25	アームバネガイド（Ｂ）	56	摺動子ギア		
26	アームカム	57	Ｏリング		
27	固定ボルト	58	摺動子		
28	固定ボルト	59	固定ボルト		
29	座金	60	ボディガード		
30	スペーサー	61	固定ボルト		
31	ラインローラー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(230209)_005

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043146

NASCI C2000SHG



(5SF45D023)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

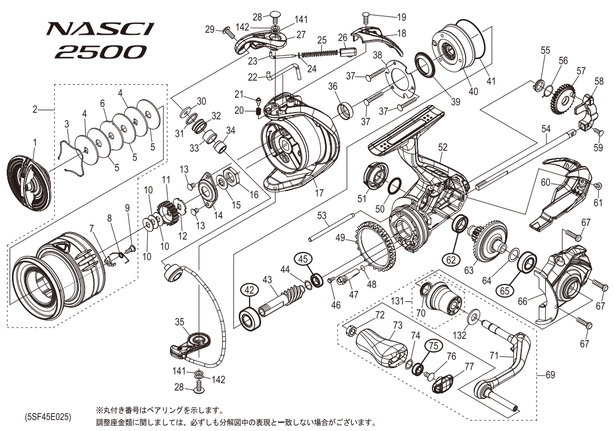
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	32	ブッシュ	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
3	抜ケ止メバネ	33	カラー	66	フタ
4	小判座金	34	ベール組	67	固定ボルト
5	ドラグ座金	35	ローターカラー	68	ハンドル組
6	スプールピン	36	固定ボルト	69	ハンドル軸シール
7	スプールピンバネ	37	ローラークラッチカバー板	70	ハンドル軸ツバ組
8	固定ボルト	38	ローラークラッチシール	71	ハンドル座金
9	スプール座金	39	ローラークラッチ組	72	ハンドルシャンク組
10	スプール受（Ａ）	40	Ｏリング	73	ブッシュ
11	スプール受（Ｂ）	41	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	74	ハンドルノブ
12	固定ボルト	43	座金	75	座金
13	リテーナー	44	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	76	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
14	ローターベアリングシール	45	固定ボルト	77	固定ボルト
15	ローターナット	46	ストッパーカム	78	ハンドルキャップ
16	ローター	47	Ｏリング	91	スプール組
17	アームカムバネカバー	48	フリクションリング	92	ピニオンギア
18	固定ボルト	49	Ｏリング	93	ボディ組
19	音出シバネ	50	ハンドルスクリューキャップ	94	ドライブギア
20	音出シピン	52	摺動子ガイド	101	座金
21	内ゲリレバー	53	メインシャフト	102	座金
22	アームバネガイド（Ａ）	54	ブッシュ		
23	アームバネガイド（Ａ）カラー	55	ブッシュバネ		
24	アームカムバネ	56	摺動子ギア		
25	アームバネガイド（Ｂ）	57	Ｏリング		
26	アームカム	58	摺動子		
27	固定ボルト	59	固定ボルト		
28	固定ボルト	60	ボディガード		
29	座金	61	固定ボルト		
30	スペーサー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）		
31	ラインローラー	64	座金	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(230209)_005

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043153

NASCI 2500



(5SF45E025)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

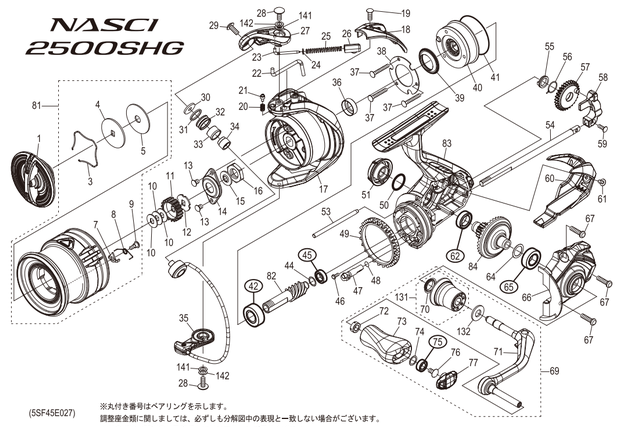
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	30	座金	59	固定ボルト
2	スプール組	31	スペーサー	60	ボディガード
3	抜ケ止メバネ	32	ラインローラー	61	固定ボルト
4	小判座金	33	ブッシュ	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）
5	ドラグ座金	34	カラー	63	ドライブギア
6	耳付座金	35	ベール組	64	座金
7	スプールピン	36	ローターカラー	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
8	スプールピンバネ	37	固定ボルト	66	フタ
9	固定ボルト	38	ローラークラッチカバー板	67	固定ボルト
10	スプール座金	39	ローラークラッチシール	68	ハンドル組
11	スプール受（Ａ）	40	ローラークラッチ組	69	ハンドル軸シール
12	スプール受（Ｂ）	41	Ｏリング	70	ハンドル軸ツバ組
13	固定ボルト	42	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	71	ハンドルシャンク組
14	リテーナー	43	ピニオンギア	72	ブッシュ
15	ローターベアリングシール	44	座金	73	ハンドルノブ
16	ローターナット	45	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	74	座金
17	ローター	46	固定ボルト	75	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
18	アームカムバネカバー	47	ストッパーカム	76	固定ボルト
19	固定ボルト	48	Ｏリング	77	固定ボルト
20	音出シバネ	49	フリクションリング	78	ハンドルキャップ
21	音出シピン	50	Ｏリング	81	スプール組
22	内ゲリレバー	51	ハンドルスクリューキャップ	82	ボディ組
23	アームバネガイド（Ａ）	52	摺動子ガイド	101	座金
24	アームバネガイド（Ａ）カラー	53	メインシャフト	102	座金
25	アームカムバネ	54	ブッシュ		
26	アームバネガイド（Ｂ）	55	ブッシュバネ		
27	アームカム	56	摺動子ギア		
28	固定ボルト	57	Ｏリング		
29	座金	58	摺動子		
30	スペーサー	59	固定ボルト		
31	ラインローラー	60	ボディガード		
32	ブッシュ	61	固定ボルト		
33	カラー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）
34	ベール組	63	ドライブギア		
35	ローターカラー	64	座金		
36	固定ボルト	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）		
37	ローラークラッチカバー板	66	フタ		
38	ローラークラッチシール	67	固定ボルト		
39	ローラークラッチ組	68	ハンドル組		
40	Ｏリング	69	ハンドル軸シール		
41	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	70	ハンドル軸ツバ組		
42	ピニオンギア	71	ハンドル座金		
43	座金	72	ハンドルシャンク組		
44	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	73	ブッシュ		
45	固定ボルト	74	ハンドルノブ		
46	ストッパーカム	75	座金		
47	Ｏリング	76	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）		
48	フリクションリング	77	固定ボルト		
49	Ｏリング	78	ハンドルキャップ		
50	ハンドルスクリューキャップ	81	スプール組		
51	ハンドルスクリューキャップ	82	ボディ組		
52	摺動子ガイド	101	座金		
53	メインシャフト	102	座金		
54	ブッシュ				
55	ブッシュバネ				
56	摺動子ギア				
57	Ｏリング				
58	摺動子				
59	固定ボルト				
60	ボディガード				
61	固定ボルト				
62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）				
63	ドライブギア				
64	座金				
65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）				
66	フタ				
67	固定ボルト				
68	ハンドル組				
69	ハンドル軸シール				
70	ハンドル軸ツバ組				
71	ハンドル座金				
72	ハンドルシャンク組				
73	ブッシュ				
74	ハンドルノブ				
75	座金				
76	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）				
77	固定ボルト				
78	ハンドルキャップ				
81	スプール組				
82	ボディ組				
83	ボディ組				
84	ドライブギア				
131	ハンドル軸ツバ組				
132	ハンドル座金				
141	座金				
142	座金				
PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）				

(230209)_004

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043177

NASCI 2500SHG



(5SF45E027)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

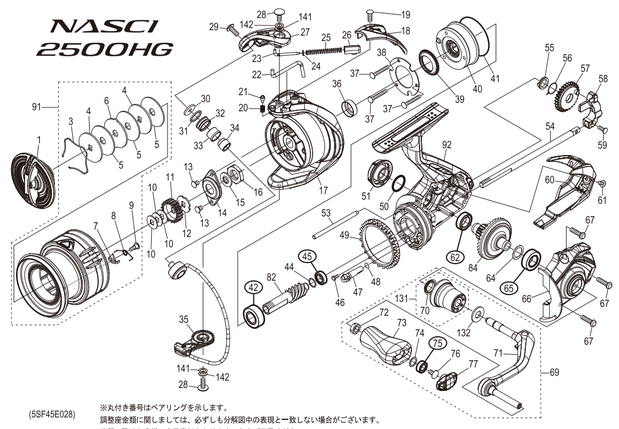
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	32	ラインローラー	64	座金
3	抜ケ止メバネ	33	ブッシュ	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
4	小判座金	34	カラー	66	フタ
5	ドラグ座金	35	ベール組	67	固定ボルト
7	スプールピン	36	ローターカラー	69	ハンドル組
8	スプールピンバネ	37	固定ボルト	70	ハンドル軸シール
9	固定ボルト	38	ローラークラッチカバー板	71	ハンドルシャンク組
10	スプール座金	39	ローラークラッチシール	72	ブッシュ
11	スプール受（Ａ）	40	ローラークラッチ組	73	ハンドルノブ
12	スプール受（Ｂ）	41	Ｏリング	74	座金
13	固定ボルト	42	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	75	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
14	リテーナー	43	ピニオンギア	76	固定ボルト
15	ローターベアリングシール	44	座金	77	ハンドルキャップ
16	ローターナット	45	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	81	スプール組
17	ローター	46	固定ボルト	82	ピニオンギア
18	アームカムバネカバー	47	ストッパーカム	83	ボディ組
19	固定ボルト	48	Ｏリング	84	ドライブギア
20	音出シバネ	49	フリクションリング	131	ハンドル軸ツバ組
21	音出シピン	50	Ｏリング	132	ハンドル座金
22	内ゲリレバー	51	ハンドルスクリューキャップ	141	座金
23	アームバネガイド（Ａ）	53	摺動子ガイド	142	座金
24	アームバネガイド（Ａ）カラー	54	メインシャフト		
25	アームカムバネ	55	ブッシュ		
26	アームバネガイド（Ｂ）	56	ブッシュバネ		
27	アームカム	57	摺動子ギア		
28	固定ボルト	58	摺動子		
29	固定ボルト	59	固定ボルト		
30	座金	60	ボディガード		
31	スペーサー	61	固定ボルト		
32	ラインローラー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）		
33	ブッシュ	63	ドライブギア	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(230209)_004

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043184

NASCI 2500HG



(5SF45E028)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

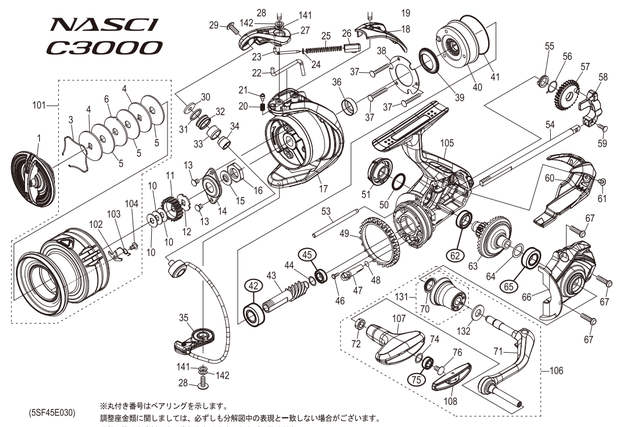
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	31	スペーサー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）
3	抜ケ止メバネ	32	ラインローラー	64	座金
4	小判座金	33	ブッシュ	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
5	ドラグ座金	34	カラー	66	フタ
6	耳付座金	35	ベール組	67	固定ボルト
7	スプールピン	36	ローターカラー	69	ハンドル組
8	スプールピンバネ	37	固定ボルト	70	ハンドル軸シール
9	固定ボルト	38	ローラークラッチカバー板	71	ハンドルシャンク組
10	スプール座金	39	ローラークラッチシール	72	ブッシュ
11	スプール受（Ａ）	40	ローラークラッチ組	73	ハンドルノブ
12	スプール受（Ｂ）	41	Ｏリング	74	座金
13	固定ボルト	42	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	75	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
14	リテーナー	44	座金	76	固定ボルト
15	ローターベアリングシール	45	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	77	ハンドルキャップ
16	ローターナット	46	固定ボルト	82	ピニオンギア
17	ローター	47	ストッパーカム	84	ドライブギア
18	アームカムバネカバー	48	Ｏリング	91	スプール組
19	固定ボルト	49	フリクションリング	92	ボディ組
20	音出シバネ	50	Ｏリング	131	ハンドル軸ツバ組
21	音出シピン	51	ハンドルスクリューキャップ	132	ハンドル座金
22	内ゲリレバー	53	摺動子ガイド	141	座金
23	アームバネガイド（Ａ）	54	メインシャフト	142	座金
24	アームバネガイド（Ａ）カラー	55	ブッシュ		
25	アームカムバネ	56	ブッシュバネ		
26	アームバネガイド（Ｂ）	57	摺動子ギア		
27	アームカム	58	摺動子		
28	固定ボルト	59	固定ボルト		
29	固定ボルト	60	ボディガード		
30	座金	61	固定ボルト		
31	スペーサー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）		
32	ラインローラー	63	ドライブギア	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）
33	ブッシュ				

(230209)_004

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043191

NASCI C3000



(5SF45E030)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

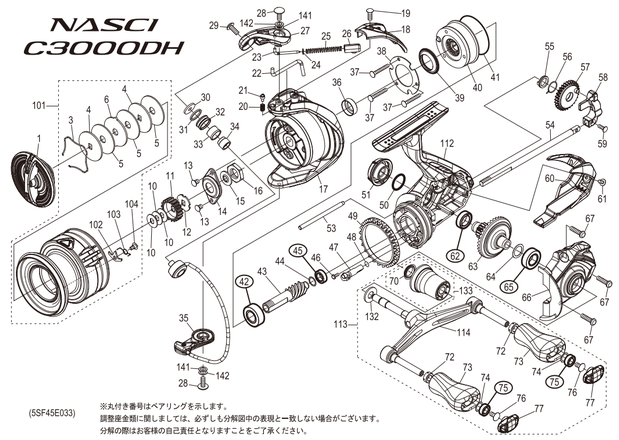
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	34	カラー	64	座金
3	抜ケ止メバネ	35	ベール組	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
4	小判座金	36	ローターカラー	66	フタ
5	ドラグ座金	37	固定ボルト	67	固定ボルト
6	耳付座金	38	ローラークラッチカバー板	70	ハンドル軸シール
10	スプール座金	39	ローラークラッチシール	71	ハンドルシャンク組
11	スプール受（Ａ）	40	ローラークラッチ組	72	ブッシュ
12	スプール受（Ｂ）	41	Ｏリング	74	座金
13	固定ボルト	42	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	75	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
14	リテーナー	43	ピニオンギア	76	固定ボルト
15	ローターベアリングシール	44	座金	101	スプール組
16	ローターナット	45	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	102	スプールピン
17	ローター	46	固定ボルト	103	スプールピンバネ
18	アームカムバネカバー	47	ストッパーカム	104	固定ボルト
19	固定ボルト	48	Ｏリング	106	ボディ組
20	音出シバネ	49	フリクションリング	106	ハンドル組
21	音出シピン	50	Ｏリング	107	ハンドルノブ
22	内ゲリレバー	51	ハンドルスクリューキャップ	108	ハンドルキャップ
23	アームバネガイド（Ａ）	53	摺動子ガイド	131	ハンドル軸ツバ組
24	アームバネガイド（Ａ）カラー	54	メインシャフト	132	ハンドル座金
25	アームカムバネ	55	ブッシュ	141	座金
26	アームバネガイド（Ｂ）	56	ブッシュバネ	142	座金
27	アームカム	57	摺動子ギア		
28	固定ボルト	58	摺動子		
29	固定ボルト	59	固定ボルト		
30	座金	60	ボディガード		
31	スペーサー	61	固定ボルト		
32	ラインローラー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）		
33	ブッシュ	63	ドライブギア	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(230209)_004

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043207

NASCI C3000DH



(5SF45E033)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

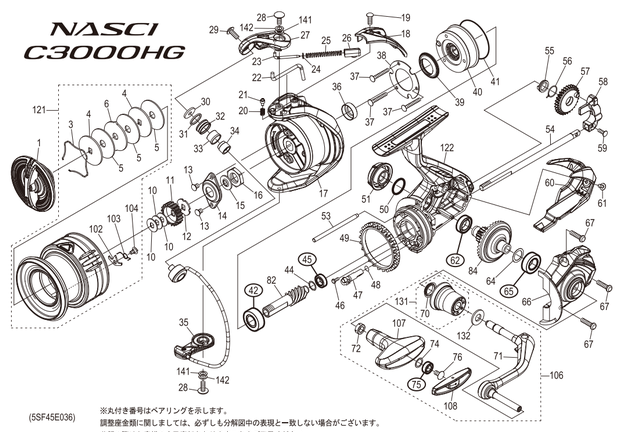
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	34	カラー	64	座金
3	抜ケ止メバネ	35	ベール組	65	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
4	小判座金	36	ローターカラー	66	フタ
5	ドラグ座金	37	固定ボルト	67	固定ボルト
6	耳付座金	38	ローラークラッチカバー板	70	ハンドル軸シール
10	スプール座金	39	ローラークラッチシール	72	ブッシュ
11	スプール受（Ａ）	40	ローラークラッチ組	73	ハンドルノブ
12	スプール受（Ｂ）	41	Ｏリング	74	座金
13	固定ボルト	42	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	75	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２，５）
14	リテーナー	43	ピニオンギア	76	固定ボルト
15	ローターベアリングシール	44	座金	101	スプール組
16	ローターナット	45	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２，５）	102	スプールピン
17	ローター	46	固定ボルト	103	スプールピンバネ
18	アームカムバネカバー	47	ストッパーカム	104	固定ボルト
19	固定ボルト	48	Ｏリング	106	ハンドル組
20	音出シバネ	49	フリクションリング	107	ハンドルノブ
21	音出シピン	50	Ｏリング	108	ハンドルキャップ
22	内ゲリレバー	51	ハンドルスクリューキャップ	121	スプール組
23	アームバネガイド（Ａ）	53	摺動子ガイド	122	ボディ組
24	アームバネガイド（Ａ）カラー	54	メインシャフト	131	ハンドル軸ツバ組
25	アームカムバネ	55	ブッシュ	132	ハンドル座金
26	アームバネガイド（Ｂ）	56	ブッシュバネ	141	座金
27	アームカム	57	摺動子ギア	142	座金
28	固定ボルト	58	摺動子		
29	固定ボルト	59	固定ボルト		
30	座金	60	ボディガード		
31	スペーサー	61	固定ボルト		
32	ラインローラー	62	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）		
33	ブッシュ	63	ドライブギア	PUNT	取扱説明書分解図セット　（付属品）

(230209)_004

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから　https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043214

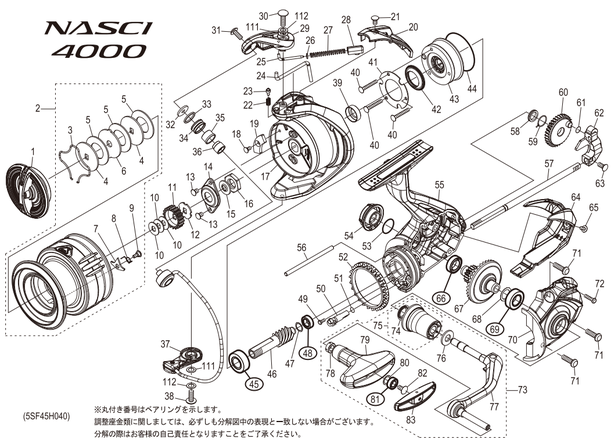
NASCI C3000HG



(5SF45E036)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

NASCI 4000



(5SF45H040)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

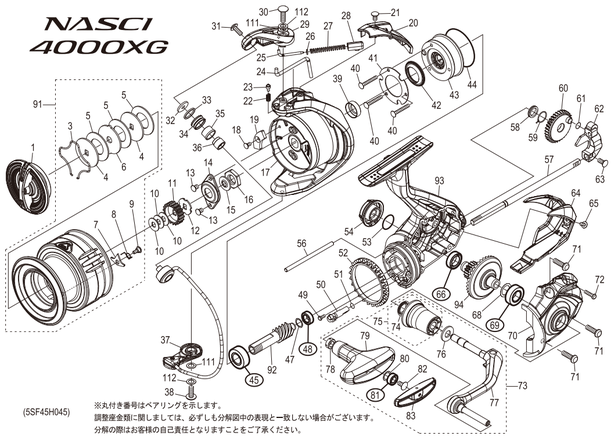
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	32	座金	63	固定ボルト
2	スプール組	33	スペーサー	64	ボディガード
3	抜ケ止メバネ	34	ラインローラー	65	固定ボルト
4	小判座金	35	ブッシュ	66	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）
5	ドラグ座金	36	カラー	67	ドライブギア
6	耳付座金	37	ベール組	68	座金
7	スプールピン	38	固定ボルト	69	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
8	スプールピンバネ	39	ローターカラー	70	フタ
9	固定ボルト	40	固定ボルト	71	固定ボルト
10	スプール座金	41	ローラークラッチカバー板	72	固定ボルト
11	スプール受（Ａ）	42	ローラークラッチシール	73	ハンドル組
12	スプール受（Ｂ）	43	ローラークラッチ組	74	ハンドル軸シール
13	固定ボルト	44	Ｏリング	75	ハンドル軸ツバ組
14	リテーナー	45	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	76	ハンドル座金
15	ローターベアリングシール	46	ピニオンギア	77	ハンドルシャンク組
16	ローターナット	47	座金	78	ブッシュ
17	ローター	48	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２．５）	79	ハンドルノブ
18	固定ボルト	49	固定ボルト	80	座金
19	バランスウェイト	50	ストッパーカム	81	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２．５）
20	アームカムバネカバー	51	Ｏリング	82	固定ボルト
21	固定ボルト	52	フリクションリング	83	ハンドルキャップ
22	音出シバネ	53	Ｏリング	111	座金
23	音出シピン	54	ハンドルスクリューキャップ	112	座金
24	内ゲリレバー	55	ボディ組		
25	アームバネガイド（Ａ）	56	摺動子ガイド		
26	アームバネガイド（Ａ）カラー	57	メインシャフト		
27	アームカムバネ	58	ブッシュ		
28	アームバネガイド（Ｂ）	59	ブッシュバネ		
29	アームカム	60	摺動子ギア		
30	固定ボルト	61	Ｏリング		
31	固定ボルト	62	摺動子	PUNT	取扱説明書分解図セット（付属品）

(230209)_003

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043221

NASCI 4000XG



(5SF45H045)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

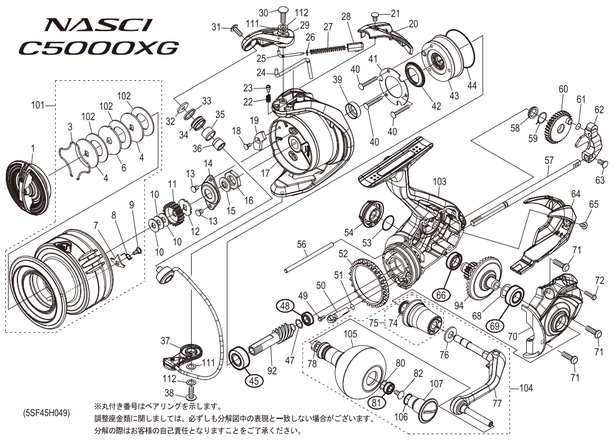
■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	33	スペーサー	66	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）
3	抜ケ止メバネ	34	ラインローラー	68	座金
4	小判座金	35	ブッシュ	69	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
5	ドラグ座金	36	カラー	70	フタ
6	耳付座金	37	ベール組	71	固定ボルト
7	スプールピン	38	固定ボルト	72	固定ボルト
8	スプールピンバネ	39	ローターカラー	73	ハンドル組
9	固定ボルト	40	固定ボルト	74	ハンドル軸シール
10	スプール座金	41	ローラークラッチカバー板	75	ハンドル軸ツバ組
11	スプール受（Ａ）	42	ローラークラッチシール	76	ハンドル座金
12	スプール受（Ｂ）	43	ローラークラッチ組	77	ハンドルシャンク組
13	固定ボルト	44	Ｏリング	78	ブッシュ
14	リテーナー	45	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	79	ハンドルノブ
15	ローターベアリングシール	47	座金	80	座金
16	ローターナット	48	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２．５）	81	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２．５）
17	ローター	49	固定ボルト	82	固定ボルト
18	固定ボルト	50	ストッパーカム	83	ハンドルキャップ
19	バランスウェイト	51	Ｏリング	91	スプール組
20	アームカムバネカバー	52	フリクションリング	92	ピニオンギア
21	固定ボルト	53	Ｏリング	93	ボディ組
22	音出シバネ	54	ハンドルスクリューキャップ	94	ドライブギア
23	音出シピン	56	摺動子ガイド	111	座金
24	内ゲリレバー	57	メインシャフト	112	座金
25	アームバネガイド（Ａ）	58	ブッシュ		
26	アームバネガイド（Ａ）カラー	59	ブッシュバネ		
27	アームカムバネ	60	摺動子ギア		
28	アームバネガイド（Ｂ）	61	Ｏリング		
29	アームカム	62	摺動子		
30	固定ボルト	63	固定ボルト		
31	固定ボルト	64	ボディガード		
32	座金	65	固定ボルト	PUNT	取扱説明書分解図セット（付属品）

(230209)_003

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043238

NASCI C5000XG



(5SF45H049)

※丸付き番号はベアリングを示します。
調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございます。
分解の際はお客様の自己責任となりますことをご了承ください。

■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
1	ドラグノブ組	34	ラインローラー	68	座金
3	抜ケ止メバネ	35	ブッシュ	69	ボールベアリング（７Ｘ１３Ｘ４）
4	小判座金	36	カラー	70	フタ
6	耳付座金	37	ベール組	71	固定ボルト
7	スプールピン	38	固定ボルト	72	固定ボルト
8	スプールピンバネ	39	ローターカラー	74	ハンドル軸シール
9	固定ボルト	40	固定ボルト	75	ハンドル軸ツバ組
10	スプール座金	41	ローラークラッチカバー板	76	ハンドル座金
11	スプール受（Ａ）	42	ローラークラッチシール	77	ハンドルシャンク組
12	スプール受（Ｂ）	43	ローラークラッチ組	78	ブッシュ
14	リテーナー	45	ボールベアリング（７Ｘ１４Ｘ５）	81	ボールベアリング（４Ｘ７Ｘ２．５）
15	ローターベアリングシール	47	座金	82	固定ボルト
16	ローターナット	48	ボールベアリング（５Ｘ８Ｘ２．５）	92	ピニオンギア
17	ローター	49	固定ボルト	94	ドライブギア
18	固定ボルト	50	ストッパーカム	101	スプール組
19	バランスウェイト	51	Ｏリング	102	ドラグ座金
20	アームカムバネカバー	52	フリクションリング	103	ボディ組
21	固定ボルト	53	Ｏリング	104	ハンドル組
22	音出シバネ	54	ハンドルスクリューキャップ	105	ハンドルノブ組
23	音出シピン	56	摺動子ガイド	106	Ｏリング
24	内ゲリレバー	57	メインシャフト	107	ハンドルキャップ
25	アームバネガイド（Ａ）	58	ブッシュ	111	座金
26	アームバネガイド（Ａ）カラー	59	ブッシュバネ	112	座金
27	アームカムバネ	60	摺動子ギア		
28	アームバネガイド（Ｂ）	61	Ｏリング		
29	アームカム	62	摺動子		
30	固定ボルト	63	固定ボルト		
31	固定ボルト	64	ボディガード		
32	座金	65	固定ボルト		
33	スペーサー	66	ボールベアリング（７Ｘ１１Ｘ３）	PUNT	取扱説明書分解図セット（付属品）

(230209)_003

部品内容について予告なく変更する場合があります。最新版はシマノホームページでご確認下さい。
← リンク先はこちらから https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=043245

■SPECIFICATIONS ■仕様一覧表 ■CARATERISTIQUES ■ESPECIFICACIONES ■ESPECIFICAÇÕES ■TECHNISCHE DATEN ■SPECIFICHE ■SPECIFIKATIONER ■Технические условия ■规格列表

Model 品番 Modèle Modelo Modelo Modell Modello Modell Модель 型号	Gear ratio ギア比 Ratio Relación de transmisión Relação de transmissão Getriebeübersetzung Rapporto di recupero Utväxling Передаточное число шестеренок 齿轮比	Maximum dragforce (lb / kg) 最大ドラグ力 (lb / kg) Frein maximum (lb / kg) máxima fuerza de frenado (lb / kg) Máxima potência do Drag (lb / kg) Maximale Bremskraft (lb / kg) Max drag (lb / kg) Maximal bromskraft (lb / kg) Максимальная сила вытягивания (lb / kg) 最大卸力 (lb/kg)	Weight (g / oz) 自重 (g / oz) Poids (g / oz) Peso (g / oz) Peso (g / oz) Gewicht (g / oz) Peso (g / oz) Vikt (g / oz) Вес (g / oz) 重量 (g/oz)	PE (No.- m) PE (号- m) PE (No.- m) PE (N - m) PE (No.- m) PE (No.- m) PE (No.- m) PE (No.- m) PE (№ - м) PE线 (No.- m)	Nylon MONO (No.- m) Nylon MONO (号- m) Nylon MONO (No.- m) Nylon MONO (No.- m) Nylon MONO (No.- m) Nylon MONO (No.- m) Nylon MONO (No.- m) Nylon MONO (No.- m) Нейлон Моно (№ - м) 尼龙线 (No.- m)	Nylon MONO (lb.- m) Nylon MONO (lb.- m) Nylon MONO (lb.- m) DIA MONO Nylon. (mm - m) Nylon Mono Dia. (mm - m) Nylon MONO Durchm. (mm - m) Nylon MONO DIA. (mm - m) Nylon MONO DIA. (mm - m) Нейлон Моно (фунты - м) 尼龙线 (lb.- m)	Nylon MONO DIA. (mm - m) Nylon MONO DIA. (mm - m) Nylon MONO DIA. (mm - m) Nylon MONO DIA. (mm - m) Нейлон Моно диаметр (MM - M) 尼龙线直径 (mm - m)	Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Nylon MONO (lbs.-yds) Нейлон Моно (фунты - ярды) 尼龙线 (lbs.-yds)	USA / PowerPro (lbs.-yds.) USA / PowerPro (lbs.-yds.) USA PowerPro (lbs.-yds.) USA PowerPro (lbs.-yds.) USA PowerPró (lbs.-yds.) USA PowerPro (lbs.-yds.) USA / PowerPro (lbs.-yds.) USA / PowerPro (lbs.-yds.) USA PowerPro (фунты - ярды) USA / PowerPro (lbs.-yds.)	Line retrieve per crank (cm/inch) 最大巻き上長 (cm/inch) Récupération par tour de manivelle (cm/inch) recuperación de línea por vuelta de manivela (cm/pulgadas) Linha recuperada por manívela (cm/inch) Schnureinzug pro Kurbeldrehung (cm/inch) Recupero per giro di manovella (cm/inch) Linitag per vevvarv (cm/inch) Вытяжка лески на 1 оборот рукоятки (см/дюймы) 最大收线长 (cm/inch)	Bearing (Ball Bearing / Roller Bearing) ベアリング数 (ボール / ローラー) Roulement (Roulement à billes / Roulement à rouleaux) Rodamientos (Rodamiento de bolas / Rodamiento de rodillos) Rolamentos (Rolamento de esferas / Rolamento de rolos) Lager (Kugellager / Wälzlager) Cuscinetto (Cuscinetto a sfere / cuscinetto a rulli) Lager (Kullager / Rullager) Подшипник (Шарикоподшипник / роликовый подшипник) 培林数 (BB/罗拉)
500	5.6	7 / 3	170 / 6.0	0.6-185 0.8-140 1-110	Nylon 1-150,1.5-90,2-70 Fluoro 1-130,1.5-85,2-60	-	0.20-110	2-190 4-100 6-60	5-135 8-105 10-65	69 / 27	4 / 1
1000	5.0	7 / 3	205 / 7.2	0.8-240 1-190	Nylon 1.5-130,2-100,2.5-85 Fluoro 1.5-120,2-85,2.5-70	-	0.18-170 0.20-140 0.25-90	2-270 4-160 6-110	10-95 15-75 20-65	66 / 26	5 / 1
C2000S	5.0	7 / 3	210 / 7.4	0.6-150 0.8-110 1-80	-	Nylon 3-125,4-100,5-75 Fluoro 3-110,4-85,5-65	0.14-145 0.16-105 0.18-80	No indication	3-125 4-105 5-90	66 / 26	5 / 1
C2000SHG	6.0	7 / 3	210 / 7.4	0.6-150 0.8-110 1-80	-	Nylon 3-125,4-100,5-75 Fluoro 3-110,4-85,5-65	0.14-145 0.16-105 0.18-80	No indication	3-125 4-105 5-90	79 / 31	5 / 1
2500	5.0	20 / 9	240 / 8.5	1-320 1.2-270 1.5-220	Nylon 2-170,2.5-150,3-120 Fluoro 2-140,2.5-125,3-100	-	0.25-160	8-140 10-120	10-150 15-145 30-100	73 / 29	5 / 1
2500HG	6.2	20 / 9	240 / 8.5	1-320 1.2-270 1.5-220	Nylon 2-170,2.5-150,3-120 Fluoro 2-140,2.5-125,3-100	-	0.25-160	8-140 10-120	10-150 15-145 30-100	91 / 36	5 / 1
2500SHG	6.2	9 / 4	240 / 8.5	0.6-200 0.8-150 1-120	-	Nylon 5-110,6-95,8-70 Fluoro 4-130,5-100,6-80	0.16-150 0.18-120 0.20-95	4-115 6-75 8-55	5-140 8-120 10-85	91 / 36	5 / 1
C3000	5.0	20 / 9	240 / 8.5	1-400 1.5-270 2-200	Nylon 2.5-180,3-150,4-100 Fluoro 2.5-160,3-130,4-100	-	0.25-210 0.30-130 0.35-100	6-230 8-170 10-140	10-200 20-140 40-105	73 / 29	5 / 1
C3000HG	6.2	20 / 9	240 / 8.5	1-400 1.5-270 2-200	Nylon 2.5-180,3-150,4-100 Fluoro 2.5-160,3-130,4-100	-	0.25-210 0.30-130 0.35-100	6-230 8-170 10-140	10-200 20-140 40-105	91 / 36	5 / 1
C3000DH	5.0	20 / 9	270 / 9.5	1-400 1.5-270 2-200	Nylon 2.5-180,3-150,4-100 Fluoro 2.5-160,3-130,4-100	-	0.25-210 0.30-130 0.35-100	6-230 8-170 10-140	10-200 20-140 40-105	73 / 29	6 / 1
4000	4.7	24 / 11	285 / 10.1	1-490 1.5-320 2-240	Nylon 3.5-170,4-150,5-125 Fluoro 3-190,4-145,5-115	-	0.30-180 0.35-130	10-200 12-160	15-230 30-180 50-120	75 / 30	5 / 1
4000XG	6.2	24 / 11	285 / 10.1	1-490 1.5-320 2-240	Nylon 3.5-170,4-150,5-125 Fluoro 3-190,4-145,5-115	-	0.30-180 0.35-130	10-200 12-160	15-230 30-180 50-120	99 / 39	5 / 1
C5000XG	6.2	24 / 11	305 / 10.8	1.5-400 2-300 3-200	Nylon 4-190,5-150,6-125 Fluoro 4-170,5-135,6-115	-	0.35-175 0.40-120	12-195 14-165	20-260 30-235 40-185	105 / 41	5 / 1

●Line capacity indicated is approximate and for guidance purpose only. Line capacity can be influenced by many factors including line tension & diameter, temperature etc.
●糸巻き量は参考値となっております。糸の張力、直径、気温などの様々な要因によって、実際に巻ける数値が前後する可能性があります。
●Les contenances indiquées sont approximatives et sont seulement données à titre indicatif. Elles peuvent en effet varier en raison de nombreux facteurs comme la tension de la ligne, son diamètre, la température etc.
●La capacidad de la línea indicada es aproximada y únicamente como referencia. La capacidad de la línea puede estar influenciada por muchos factores, como la tensión de línea, su diámetro, la temperatura, etc.
●Capacidade de linha indicado é aproximado e serve apenas como guia. Capacidade da linha pode ser influenciado por vários factores, incluindo a tensão de linha e de diâmetro, temperatura, etc.
●Die angezeigte Schnurkapazität ist ein Annäherungswert und gilt nur als Richtlinie. Die Schnurkapazität wird von vielen Faktoren beeinflusst, darunter Schnurspannung und Schnurdurchmesser, Temperatur u.a.
●La capacità di filo indicate è approssimativa ed è solo una indicazione di massima. La capacità del filo può essere influenzata da diversi fattori, inclusa la tensione del filo, il diametro, la temperature ecc.
●Avgiven linkapacitet är ungefärlig. Linkapacitetens påverkas av många olika faktorer som t.ex. linspänning, lindiameter, temperatur etc.
●Вместимость лески указывается приблизительно. Вместимость лески может зависеть от многих факторов, таких как натяжение и диаметр лески, температура и т.д.
●容线量为参考值。根据线张力、直径、气温等多种因素，在实际上线时数值可能会有误差。

INSTRUCTIONS

Removing the handle knob

1. Take off the cap
2. Remove a screw inside handle knob.

※If the cap is difficult to take off, please remove it by hooking it with a thin stick like in the picture on the right.
(Please be careful not to scratch the cap.)

1. Hold the end of handle knob tighly and loosen the handle knob cap by coins.
2. Remove a screw inside handle knob.

Do not disassemble the reel
This reel is a precisely manufactured product. Disassembling the reel may result in decreased performance, and is not recommended, except for parts whose disassembly and maintenance are described in the instruction manual. Problems caused by unauthorised disassembly are not covered by warranty.

Do not spray oil in to the space between body and rotor (•).
Special water repellent coatings are added to some parts of the reel to improve water resistance.
Lubricant will damage water repellent coating on the parts.

使用上のご注意

ハンドルノブの取り外し方

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。

※取り外しにくい場合は、図のように細い棒状のもので引っかけて外してください。
（キャップの木づけをにご注意ください。）

1. ノブの端元を手で押さえながら、コインでハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。

分解禁止
本製品は、精密な作りになっております。勝手に分解されますと性能が低下する恐れがあります。お客様ご自身による分解は、ご取扱説明書に記載されている可能性がありますので、推奨できません。分解により生じた不具合に関しましては、保証致しかねますので、ご注意ください。

本体とローターの隙間(•)に注油することはおやめください。
本製品は水の浸入を防ぐ為ローラーに特殊な、はっ水処理を行っています。注油することで油分が付着し、はっ水性能を損なう恐れがあります。

INSTRUCTIONS

Enlevez la poignée de la manivelle

1. Ôtez le capuchon
2. Retirez la vis se trouvant à l'intérieur du pommeau de la poignée.

※Si le capuchon est trop difficile à retirer, utiliser un ustensile fin tel que celui illustré sur l'image à droite.
(Veiller à ne pas rayer le capuchon)

1. Tenez fermement le bout du pommeau de la poignée puis relâchez-le avec une pièce de monnaie
2. Enlevez les vis se trouvant à l'intérieur du pommeau de la poignée.

Ne pas démonter le moulinet
Ce moulinet est un produit fabriqué avec précision.
Le démontage du moulinet peut entraîner une baisse des performances, et n'est pas recommandé, à l'exception des pièces dont le démontage et l'entretien sont décrits dans le mode d'emploi.
Les problèmes causés par le démontage non autorisé ne sont pas couverts par la garantie.

Veuillez ne pas lubrifier dans l'espace entre le bâti et le rotor (•).
Certaines pièces de ce produit ont reçu un traitement déperlant spécial permettant d'améliorer leur résistance à l'eau.
Un lubrifiant peut dégrader les qualités déperlantes du produit.

INSTRUCCIONES

Extracción del pomo de manivela

1. Retire la tapa.
2. Retire el tornillo del mango del pomo.

※Si resultara difícil de sacar la tapa, desmóntelo enganchándolo con un palito delgadito como el de la figura a la derecha.
(Tenga mucho cuidado de no rayar la tapa.)

1. Sujete el extremo del pomo con fuerza y afloje la tapa del pomo con una moneda.
2. Retire el tornillo dentro del pomo.

No desmonte el carrete
Este carrete es un producto fabricado con precisión. Desmontar el carrete puede resultar en una disminución del rendimiento y no es recomendable, a excepción de aquellas partes cuyo desmontaje y mantenimiento se describen en el manual de instrucciones. Los problemas causados por el desmontaje no autorizado no están cubiertos por la garantía.

No lubrique el espacio entre el rotor y el cuerpo principal (•).
Este producto posee piezas con un tratamiento especial de impermeabilización para evitar el ingreso de agua.Los lubricantes pueden dañar la funcionalidad del producto.

INSTRUÇÕES

Removendo o botão de punho

1. Levante a tampa
2. Retire o parafuso de dentro do punho da manivela

※Se a remoção da tampa for difícil, remova a mesma enganchando-a com uma vareta fina conforme ilustrado na figura à direita.
(Por favor tome cuidado para não riscar a tampa.)

1. Segure o botão de fim de pega com força e solte a tampa do botão de punho com uma moeda.
2. Remover o parafuso dentro do botão de punho.

Não desmonte o carreto
Este carreto é um produto fabricado com precisão. Desmontar o carreto pode resultar numa diminuição do desempenho e não é recomendado, excepto nas peças cuja desmontagem e manutenção estão descritas no manual de instruções. Problemas causados pela desmontagem não autorizada não são cobertos pela garantia.

Não aplicar óleo no espaço entre o corpo e o rotor (•).
Um revestimento especial que repele água foi incorporado a algumas partes do carretoura melhorar a sua resistência à água.
O lubrificante pode danificar o revestimento que repele água.

ANLEITUNG

Entfernen des Kurbelknaufs

1. Nehmen Sie die Kappe ab.
2. Nehmen Sie die Schraube aus dem Kurbelknauf heraus.

※Falls es schwierig ist, die Kappe abzunehmen, haken Sie einen dünnen Stab an der Kappe ein, wie auf der rechtsstehenden Abbildung gezeigt.
(Bitte achten Sie darauf, dass die Kappe nicht zerkratzt wird.)

1. Halten Sie den Kurbelknauf am einen Ende gut fest und lösen Sie die Kappe am Kurbelknauf mittels einer Münze.
2. Nehmen Sie die Schraube aus dem Kurbelknauf heraus.

Zerlegen Sie die Rolle nicht
Diese Rolle ist ein Präzisionsprodukt. Das Zerlegen der Rolle könnte zu einer verringerten Leistung führen und wird nicht empfohlen, außer für Teile, deren Demontage und Wartung in der Bedienungsanleitung beschrieben sind. Probleme, die durch unerlaubte Demontage entstanden sind, werden von der Garantie nicht abgedeckt.

Spritzen Sie kein Öl in den Bereich zwischen Rollenkörper und Rotor (•).
Manche Komponenten der Rolle tragen eine wasserabweisende Beschichtung, womit die Wasserfestigkeit erhöht wird. Jegliches Schmiermittel würde die wasserabweisende Beschichtung der Komponenten beschädigen.

ISTRUZIONI

Rimozione del pomello della manovella

1. Rimuovi il tappo.
2. Rimuovi la vite all'interno del pomello della manovella.

※Se è difficile rimuovere il coperchio, agganciarlo con uno strumento lungo e sottile come illustrato nell'immagine a destra.
(Prestare attenzione a non graffiare il coperchio).

1. Tieni fermo il pomello della manovella con forza e allenta il tappo del pomello con una moneta.
2. Rimuovi la vite all'interno del pomello della manovella.

Non smontare la bobina
Questa bobina è un prodotto di precisione.
Lo smontaggio della bobina può causare prestazioni ridotte e pertanto non è consigliato, fatta eccezione per le parti il cui smontaggio e manutenzione sono descritti nel manuale di istruzioni. Problemi causati da uno smontaggio non autorizzato non sono coperti da garanzia.

Non applicare olio nello spazio tra il corpo del mulinello e il rotore (•).
Per aumentare l'impermeabilità, è stato applicato uno speciale trattamento idrorepellente .
Il lubrificante può danneggiare la copertura idrorepellente.

INSTRUKTIONER

Demontering av vevhandtag

1. Ta bort hatten.
2. Skruva loss skruven på insidan av vevhandtaget.

※Om det är svårt att ta av locket ska du ta bort den genom att haka fast en tunn pinne så som visas på bilden till höger.
(Var försiktig så att du inte repar locket.)

1. Sujete el extremo del pomo con fuerza y afloje la tapa del pomo con una moneda.
2. Retire el tornillo dentro del pomo.

Ta inte isär rullen
Denna rulle är en precisionstillverkad produkt.
Demontering av rullen kan resultera i försämrad prestanda och rekommenderas inte, utom för delar vars demontering och underhåll beskrivs i bruksanvisningen.
Problem som orsakas av obehörig demontering omfattas inte av garantin.

Spreja inte in olja i mellanrummet mellan stommen och rotorn (•).
Vissa delar av rullen har försetts med en speciell vattenavstötande beläggning för att förbättra vattentätheten.
Smörjmedel skadar den vattenavstötande beläggningen på delarna.

使用时的注意事项

手把握把的拆卸方法

1. 拆下盖子。
2. 拧松握把内部螺丝并取出。

※如果取下困难时，请如图使用细棒操作取下。（请注意可能会对盖子造成损伤）

1. 用手按住握把末端，用硬币拧松握把盖子并取下。
2. 拧松握把内部螺丝并取出。

禁止拆解
本产品构造精密。除了产品说明书上所记载的可拆卸部位以外，
客户擅自进行拆解可能会对产品性能造成损害。
由此产生的产品问题将由客户自行承担，敬请注意。

请不要向渔轮机身和旋转盘间隙部注油。
本产品使用特殊防泼水部件，如果在该位置注油会损伤防泼水性能。

INSTRUCTIONS

Removing the handle knob

1. Take off the cap
2. Remove a screw inside handle knob.

※If the cap is difficult to take off, please remove it by hooking it with a thin stick like in the picture on the right.
(Please be careful not to scratch the cap.)

1. Hold the end of handle knob tighly and loosen the handle knob cap by coins.
2. Remove a screw inside handle knob.

Do not disassemble the reel
This reel is a precisely manufactured product. Disassembling the reel may result in decreased performance, and is not recommended, except for parts whose disassembly and maintenance are described in the instruction manual. Problems caused by unauthorised disassembly are not covered by warranty.

Do not spray oil in to the space between body and rotor (•).
Special water repellent coatings are added to some parts of the reel to improve water resistance.
Lubricant will damage water repellent coating on the parts.

INSTRUCTIONS

Enlevez la poignée de la manivelle

1. Ôtez le capuchon
2. Retirez la vis se trouvant à l'intérieur du pommeau de la poignée.

※Si le capuchon est trop difficile à retirer, utiliser un ustensile fin tel que celui illustré sur l'image à droite.
(Veiller à ne pas rayer le capuchon)

1. Tenez fermement le bout du pommeau de la poignée puis relâchez-le avec une pièce de monnaie
2. Enlevez les vis se trouvant à l'intérieur du pommeau de la poignée.

Ne pas démonter le moulinet
Ce moulinet est un produit fabriqué avec précision.
Le démontage du moulinet peut entraîner une baisse des performances, et n'est pas recommandé, à l'exception des pièces dont le démontage et l'entretien sont décrits dans le mode d'emploi.
Les problèmes causés par le démontage non autorisé ne sont pas couverts par la garantie.

Veuillez ne pas lubrifier dans l'espace entre le bâti et le rotor (•).
Certaines pièces de ce produit ont reçu un traitement déperlant spécial permettant d'améliorer leur résistance à l'eau.
Un lubrifiant peut dégrader les qualités déperlantes du produit.

Инструкция

Снятие ручки рукоятки

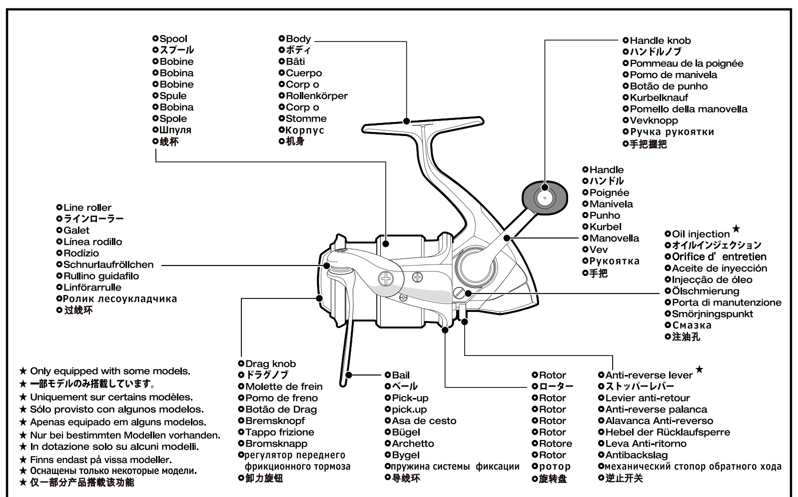
1.держа найт ручки рукоятки пальцем, ослабьте и снимите колпачок при помощи инструментов.
2. вкаручте болт из ручки рукоятки.

※Если не удается снять крышку, подденьте ее тонкой палочкой, как показано на рисунке справа.
(Старайтесь не поцарапать крышку.)

1. Удерживая конец ручки, ослабьте монетой крышку ручки.
2. Извлеките болт изнутри ручки.

Не разбирайте катушку
Данная катушка представляет собой высокоточно произведенный продукт. Разборка катушки может привести к снижению производительности, поэтому не рекомендуется к выполнить, за исключением деталей, разборка и техническое обслуживание которых описано в руководстве по эксплуатации. Неисправности, возникшие в результате самостоятельной разборки, не покрываются гарантией.

Не наносите масло в щель между корпусом катушки и роликом (•).
Детали данного изделия, предотвращающие проникновение внутрь воды, подвергались специальной водоотталкивающей обработке.
Использование смазки может оказать



★ Only equipped with some models.
★ 一部モデルのみ搭載しています。
★ Uniquement sur certains modèles.
★ Sólo provisto con algunos modelos.
★ Apenas equipado em alguns modelos.
★ Nur bei bestimmten Modellen vorhanden.
★ In dotazione solo su alcuni modelli.
★ Finns endast på vissa modeller.
★ Оснащены только некоторые модели.
★ 仅一部分产品搭载该功能

※Picture may not be exactly same as product. ※イラストは実際の製品とは異なります。 ※ L' illustration peut différer de la situation réelle.
※Fotografía puede no ser exactamente igual a la del producto. ※Imagem pode não ser exactamente a mesma do produto.
※Die Abb ildung entspricht eventue ll nicht dem vor liegenden Pro dukt. ※Le immagini potrebbero non essere esattamente identiche a l prodotto.
※Bilder kan avvika från den faktiska produkten. ※Рисунок может не совпадать с реальным продуктом. ※图片仅供参考，和实际产品会有所不同。

商品のお問い合せ・アフターサービスのご案内

●弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては製品本体、小箱、分解図に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合せの際は分解図等をご覧いただき、製品名と製品コードをお知らせください。(例／製品名：ステラ1000S 製品コード：SD83B012)

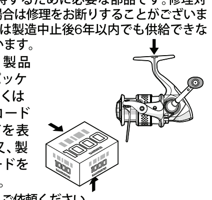
●修理に出されるときは、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、不具合が生じたそのままの状態で販売店へお持ちいただき、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、ダイレクト修理サービス(https://www.shimanofishingservice.jp/repair/direct_guide.php)をご利用ください。修理品は部品代のほか工賃を頂きますのでご了承ください。商品の故障などによって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証いたしかねます。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理はお断りさせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定のうえ、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。(例／製品名：ステラ 1000S 商品コード：02425 製品コード：SD83B012 部品番号：2 部品名：スプール) また、ご自身で分解される場合の、分解、組立方法は弊社ではご案内致しかねます。

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード / 製品コードの位置パッケージ底面部もしくは側面部に製品コード及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



■弊社サービスへご依頼ください。
リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、お買い上げの販売店を通じて直ぐさま弊社サービスへお預けください。
また、半年に1度をめやすにオーバーホールなどのメンテナンスを行うことをお勧めいたします。オーバーホールに関しましては、機種別、コース別がございますので詳しくは総合カタログまたはシマノホームページでご確認の上、販売店へお持込みいただき、ご依頼くださいますようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　埼玉営業所
〒362-0043　埼玉県上尾市西宮下3-194-1

株式会社シマノ　東京営業所
〒143-0013　東京都大田区大森南1-17-17

株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454-0012　名古屋市中川区尾頭橋2-6-21

株式会社シマノ　大阪営業所
〒590-8577　大阪府堺市堺区老松町3-77

株式会社シマノ　中四国営業所
〒700-0941　岡山市南区青江6-6-18

株式会社シマノ　九州営業所
〒841-0048　佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6

株式会社シマノ　釣具事業部
本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
●商品の性能・スペック、カタログ、イベントや
アフターサービスなどに関するお問い合わせ

0120-861130（ハローイイサオ）
受付時間：AM9:00〜12:00・PM1:00〜5:00
（土・日・祝日除く）

シマノホームページアドレスは
http://www.shimano.com です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

For complete US warranty information
Please refer to our website at www.shimano.com
For AUS warranty information and registration.
Please refer to our website.
www.shimano.com.au

SHIMANO INC.
3-77 Oimatsu-cho, Sakai-ku, Sakai City, Osaka 590-8577 Japan
SHIMANO NORTH AMERICA FISHING, INC.
9560 Palmetto Commerce Parkway Ladson, South Carolina 29456 U.S.A. Phone: +1-877-577-0600
SHIMANO CANADA LTD.
427 Pido Road Peterborough, Ontario K9J 6X7 Canada Phone: +1-705-745-3232
SHIMANO EUROPE B.V.
High Tech Campus 92, 5656 AG Eindhoven, the Netherlands Phone: +31-40-2612222
SHIMANO GERMANY FISHING GMBH
Diessemer Bruch 114F, 47805 Krefeld, Germany Phone: +49-2151-55670
SHIMANO ITALY FISHING S.R.L.
Strada Statale del Sempione 197, 20016 Pero Milano (IT), Italy Phone: +39-023-859-2096
SHIMANO POLSKA SP. Z O.O.
Ul. Jana Gutenberga, 62-023 Żerniki, Poland Phone: +48-61-6252-120
SHIMANO AUSTRALIA FISHING PTY. LTD.
2 Wurrook Circuit, Caringbah, NSW, 2229, Australia Phone: +61-2-9533-0000
SHIMANO NEW ZEALAND LIMITED
79 Apollo Drive, Albany, North Shore City 0632 Auckland, New Zealand Phone: +64-9-478-1969
SHIMANO (SINGAPORE) PTE. LTD.
11 Bulim Walk, Singapore 648105 Phone: +65-6265-4777
SHIMANO (SHANGHAI) SALES CORPORATION
Room 1701---1705 Sheng Gao International Tower, No. 137 Xian Xia Road, Shanghai 200051, China Phone: +86-21-52061212
SHIMANO UK LTD.
Unit 2, Elm Court, Copse Drive, Meriden Business Park, Coventry. CV5 9RN, United Kingdom Phone: +44-330-333-4888

www.shimano.com

SHIMANO SATELLITE SERVICE CENTERS
North America
To receive the location of the nearest authorized warranty center to you please visit us on the internet at http://www.shimano.com, or call (877) 577-0600 8-5 PST to speak directly to a service representative.

(2023.12.20)

SPINNING REEL MANUAL

Congratulations, you have purchased a very advanced fixed spool reel. Please take a few moments to read more about this reel s o you can enjoy it for many years to come.

スピニングリール 取扱説明書
この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

INSTRUCTIONS D' USAGE DES MOULINETS "SPINNING"
Félicitations, vous venez d acquérir un moulinet à la pointe de la technologie. Veuillez prendre quelques instants pour lire ces instructions afin de lutiliser dans des conditions optimales pour plusieurs années.

MANUAL PARA CARRTES DE SPINNING
Felicidades, usted acaba de comprar un carrete de bobina fija muy avanzado. Por favor, tómese unos minutos para leer más sobre e ste carrete para que pueda disfrutar de el durante muchos años en el futuro.

MANUAL CARRETOS DE SPINNING
Parabéns, você comprou um carreto de bobine fixa, muito avançado Por favor, dedique alguns momentos para ler mais sobre este carreto para que possa apreciá-lo por muitos anos.

ANLEITUNG FÜR DIE SPINNROLLE
Wir beglückwünschen Sie zu dieser Hochleistungs-Stationärrolle. Bitte lesen Sie die folgenden Hinweise zur Stationärrolle durch, damit Sie viele Jahre lang daran Freude haben.

MANUALE MULINELLI DA SPINNING
Congratulazioni, hai acquistato un modello avanzato di mulinello a bobina fissa. Per favore, prenditi qualche momento per leggere questo manuale e scoprire di più su questo mulinello, in modo che tu possa sfruttarlo per molti anni.

MANUAL　HASPELRULLE
Gratulerar, du har köpt en mycket avancerad haspelrulle. Ta dig tid att läsa me rom denna haspelrulle så att du kan njuta av den en lång tid framöver.

Инструкция по эксплуатации спиннинговой катушки
Поздравляем! Вы приобрели самую передовую катушку с фиксированной шпулей. Пожалуйста, затратьте немного времени и прочтите информацию о вашей катушке, чтобы насладиться работой с нею в течение нескольких ближайших лет.

纺车轮使用说明书
非常感谢购买SHIMANO产品。为了能将本产品的性能充分发挥出来，请在使用前阅读本说明书、并妥善保存渔轮。

⚠ CAUTION Please note for your safety

- Remember to open the bail when you cast. The line may break and injure someone else.
- For models with anti-reverse selection mechanism, make sure the anti-reverse is set to on when you cast. Otherwise the handle may turn backward and injure your hand.
- For models with anti-reverse selection mechanism, be careful when you fish with the anti-reverse selection mechanism set to off. When a fish strikes, the handle may turn backward and hit your hand.
- Keep your fingers away from the line when it is coming off the spool fast. You might injure your fingers.
- In the event that the coating or painted finish, etc. has been worn away or the outer surface of the materials has become roughened or sharp due to violent impact, etc., avoid contact with such parts as they pose a risk of injury.
- If the line becomes snagged while fishing, do not try to force it free by using the rod or reel, but instead protect your hands with a towel, etc., then pull in the line, leaving as little line as possible behind at the angling site.
- Be careful not to drop the reel on the ground. Reels may break due to shock of the impact.
- Never immerse the reel into water or sand. This may cause the reel to malfunction.
- Keep the reel out of the reach of small children. Unexpected accidents may occur.
- Tighten the drag when you cast hard. If the drag slips, the line may injure your finger.
- Only use the reels for the purpose of fishing.
- Be careful not to stain your clothing with oil or grease on the reels.
- Follow handling instructions with care. When transporting, take particular care not to throw the reel around or let it come into contact with other gear inside your bag as this can be a cause of damage.
- Look backward before you cast to avoid injuring someone else.
- Keep hands and fingers clear when the rotor and handle are turning fast.

⚠ 注意 安全上・ご使用上のご注意 ご使用前に必ずお読みください

- キャスティング(投げる)の時は、ベールを起こすことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで周囲の人にけがをさせるおそれがあります。
- キャスティング(投げる)の時、ストッパー切り替え機構のある機種では、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げるとハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。
- ストッパー切り替え機構のある機種では、ストッパーをOFFにして釣っていると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
- 根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状の物に糸を巻きつけてゆっくりと引っ張るようにしてください。リールの故障の原因となります。
ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。
- 落下にご注意ください。リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがあります。
- リールを砂地に直接置いたり、リールを水没させないでください。リール内部に砂や水が入ると、故障の原因となります。
- 幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 遠投する際にはドラグが滑ると糸で指を傷付けるおそれがあります。必ずドラグを強く締付けてから投げてください。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。
- リールは丁寧に扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
- キャストの際は周囲をよく見て安全に気をつけてください。
- 回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けがをするおそれがあります。

⚠ PRECAUTIONS Veuillez prendre note de ces conseils pour votre sécurité

- N' oubliez pas d' ouvrir votre pick-up avant de lancer. Autrement, le fil pourrait casser et blesser quelqu' un.
- Pour les modèles équipés d'un mécanisme de sélection d'anti-inversion, assurez-vous que le cliquet est bien enclenché lors du lancer. Dans le cas contraire, la poignée pourrait tourner vers l'arrière et blesser votre main.
- Pour les modèles équipés d'un mécanisme de sélection d'anti-inversion, soyez prudent lorsque vous pêchez avecle mécanisme désenclenché. Si un poisson mord, la poignée pourrait tourner vers l'arrière et frapper votre main.
- Eloignez vos doigts du fil lorsqu' ils sont sur la bobine afin de ne pas vous blesser.
- Au cas où le revêtement ou la couche de peinture, etc. se soit enlevé ou bien que la surface extérieure des matériaux devienne rugueuse ou tranchante à cause d'un impact violent, etc., évitez tout contact avec de telles parties car elles présentent des risques de blessures.
- Si le fil s' accroche en action de pêche, n' essayez pas d' utiliser votre canne ou moulinet pour le libérer, mais protégez plutôt vos mains avec un mouchoir par exemple, puis tirez sur le fil en laissant aussi peu de fil que possible sur le lieu de pêche à la ligne.
- Veuillez ne pas laisser tomber le moulinet au sol. Les moulinets peuvent casser suite au choc de l'impact.
- Ne jamais immerger votre moulinet dans de l' eau ou du sable. Il risquerait de mal fonctionner.
- Tenez votre moulinet hors de portée des enfants. Des accidents inattendus peuvent se produire.
- Serrez votre frein lorsque vous pêchez avec des montages lourds. Si le frein dérape, le fil peut vous blesser le doigt.
- Utilisez vos moulinets seulement pour la pêche.
- Veillez à ne pas salir vos vêtements avec l'huile ou la graisse contenue dans le moulinet.
- Suivez les instructions de manipulation avec soin. Lors du transport, prenez tout particulièrement soin de ne pas jeter le moulinet ou bien de le faire entrer en contact avec d'autres matériels dans votre sac car ceci pourrait causer des dégâts.
- Regardez toujours derrière vous avant de lancer afin de ne blesser personne.
- Gardez vos mains et vos doigts éloignés lors de la rotation rapide du rotor et de la manivelle.

⚠ PRECAUTIÒN Tenga en cuenta para su seguridad

- Recuerde abrir el pick-up cuando lance. La línea se podría romper y lesionar a otra persona.
- Para los modelos con mecanismo de selección anti-reversa, asegúrese de que el anti-reversa esté activado cuando lance. De lo contrario, el mango puede girar hacia atrás y lesionar su mano.
- Para los modelos con mecanismo de selección anti-reversa, tenga cuidado cuando pesque con el mecanismo anti-reversa desactivado. Cuando un pez muerde el anzuelo, la manivela puede girar hacia atrás y golpear su mano.
- Mantenga los dedos alejados de la línea cuando un pez saque esta con fuerza y velocidad. Puede dañarse los dedos.
- En el caso de que se haya desgastado el revestimiento o el acabado pintado, etc., o la superficie exterior de los materiales se haya vuelto más áspera o a lada a causa de un impacto violento, etc., evite el contacto con tales partes pues éstas provocan un riesgo de lesiones.
- Si la línea se enganchó durante la pesca, no intente forzarla mediante el uso de la caña o el carrete, deberá protegerse las manos con una toalla, etc. y, a continuación, tirar de la línea, dejando la menor cantidad de línea posible en el sitio de pesca.
- Tenga cuidado de no dejar caer el carrete en el suelo. Los carretes podrían romperse debido al choque del impacto.
- No sumerja nunca el carrete en agua o arena. Esto puede causar un mal funcionamiento del mismo.
- Mantenga el carrete fuera del alcance de los niños pequeños. Podrían producirse accidentes imprevistos.
- Apriete el freno cuando lance fuerte. Si el freno se desliza, la línea podría lesionar su dedo.
- Utilice sólo los carretes a los efectos de la pesca.
- Tenga cuidado de no mancharse la ropa con aceite o grasa de los carretes.
- Siga las instrucciones de manejo con cuidado. Al transportar, procure no provocar sacudidas al carrete o que entre en contacto con otro material de su bolsa, puesto que podría provocar daños.
- Mire hacia atrás antes de lanzar para evitar lesiones a otra persona.
- Mantenga las manos y los dedos alejados del rotor o cuando la manivela está girando rápidamente. Usted se puede lesionar la mano.

⚠ CUIDADO Por favor, tome nota para a sua segurança

- Lembre-se de abrir a asa do cesto quando lançar. A linha pode quebrar e pode ferir alguém.
- Para modelos com mecanismo de seleção antirreverso, certifique-se de que o antirreverso está ativado ao fazer o lançamento. Caso contrário, a manivela pode rodar para trás e ferir-lhe a mão.
- Em modelos com mecanismo de seleção antirreverso, tenha cuidado ao pescar com o mecanismo de seleção antirreverso desativado. Quando um peixe morde, a manivela pode rodar para trás e bater-lhe na mão.
- Mantenha os dedos longe da linha quando esta estiver a sair da bobine. Poderá ferir os seus dedos.
- Na eventualidade de o revestimento ou a pintura, etc. estiverem desgastados ou a superfície exterior dos materiais se tornar áspera ou cortante devido a um impacto violento ou outra razão, evite o contacto com essas partes dado que elas constituem um risco de lesões.
- Se a linha ficar presa enquanto pesca, não tente libertá-la à força usando a cana ou o carreto; em vez disso proteja as mãos com uma toalha, etc., então puxe a linha, deixando ficar o mínimo de linha possível no pesqueiro.
- Tenha cuidado para não deixar cair o carreto no chão. Os carretos podem quebrar devido ao choque do impacto.
- Nunca mergulhe o carreto na água ou areia. Isto pode causar a avaria do carreto.
- Mantenha o carreto fora do alcance das crianças pequenas. Acidentes podem ocorrer.
- Aperte o Drag quando lançar longe. Se o Drag deslizar, a linha pode ferir o seu dedo.
- Utilize apenas os carretos com a finalidade da pesca.
- Tenha cuidado para não manchar a sua roupa com óleo ou massa dos carretos.
- Siga cuidadosamente as instruções de manuseamento. Quando transportar, tome um cuidado especial para não balançar o carreto ao redor ou deixá-lo em contacto com outro equipamento dentro do saco pois isso poderá dar origem a danos.
- Olhe para trás antes de lançar para evitar ferir alguém.
- Mantenha as mãos e os dedos afastados quando o rotor ou a manivela estiverem a girar rápido.

⚠ VORSICHT Wichtige Hinweise zum sicheren Gebrauch

- Vergessen Sie nicht, vor dem Werfen den Bügel zu öffnen. Die Schnur könnte reißen und jemanden verletzen.
- Für Modelle, die mit einer Rücklaufsperre ausgerüstet sind, muss vor dem Werfen die Rücklaufsperre eingeschaltet werden. Die Kurbel kann sich sonst rückwärts drehen und eine Handverletzung verursachen.
- Bei den Modellen, die mit einer Rücklaufsperre ausgerüstet sind, müssen Sie sehr vorsichtig sein, wenn Sie mit ausgeschalteter Rücklaufsperre fischen. Wenn ein Fisch anbeißt, kann sich die Kurbel rückwärts drehen und dabei eine Handverletzung verursachen.
- Halten Sie die Finger von der Schnur fern, wenn sie schnell von der Spule abgezogen wird. Es besteht Verletzungsgefahr.
- Wenn die Beschichtung oder der Lack o.ä. abgenutzt sind oder die Oberfläche des Materials aufgrund eines Stoßes o.ä. rau oder scharf geworden ist, vermeiden Sie die Berührung solcher Teile, da sie eine Verletzungsgefahr darstellen.
- Falls sich die Schnur beim Angeln verfangen hat, sollten Sie nicht versuchen, sie mit der Rute oder der Rolle frei zu zerren. Es empfiehlt sich stattdessen, die Hand mit einem Lappen o.ä. zu umwickeln und dann die Schnur zu sich her zu ziehen, um zum Schluss möglichst wenig Schnur am Angelplatz zurück zu lassen.
- Lassen Sie die Rolle nicht herunter fallen. Bei hartem Aufprall können die Rollen brechen.
- Lassen Sie die Rolle nicht ins Wasser oder in den Sand fallen. Die Rolle könnte sonst ihre Funktion verlieren.
- Verwahren Sie die Rolle außerhalb der Reichweite von Kleinkindern. Es besteht sonst Unfallgefahr.
- Ziehen Sie die Bremse fest, bevor Sie mit Wucht werfen. Falls die Bremse rutscht, könnten Sie sich die Finger an der Schnur verletzen.
- Verwenden Sie Angelrollen grundsätzlich nur zum Angeln.
- Achten Sie darauf, dass Öl oder Schmierfett auf der Rolle nicht auf Kleidungsstücke gerät.
- Befolgen Sie gewissenhaft die Bedienungsanleitung. Achten Sie beim Transport besonders darauf, dass die Rolle nicht herumgestoßen wird oder mit anderen Ausrüstungsteilen in Ihrer Tasche in Berührung kommt, dadurch können Schäden entstehen.
- Blicken Sie hinter sich, bevor Sie die Rute werfen, um Verletzung von Beistehenden zu verhüten.
- Halten Sie Hände und Finger von der Rolle fern, wenn der Rotor und die Kurbel sich schnell drehen.

⚠ ATTENZIONE Ricorda per la tua sicurezza

- Ricordati di aprire l'archetto quando lanci. Il filo potrebbe altrimenti rompersi e potrebbe ferire altre persone.
- Per i modelli con meccanismo di selezione antiritorno, assicurarsi che l'antiritorno sia impostato su ON durante il lancio. In caso contrario la manovella potrebbe girare all'indietro e provocare infortuni alla mano.
- Per i modelli con meccanismo di selezione antiritorno, presta attenzione quando peschi con il meccanismo di selezione antiritorno impostato su OFF. Quando un pesce abbocca, la manovella potrebbe girare all'indietro e colpirti la mano.
- Tieni lontane le tue dita dal filo quando sta uscendo velocemente dalla bobina. Potresti ferirti alle dita.
- Nel caso il rivestimento o la vernice dovessero usurarsi o la superficie esterna dei materiali è diventata ruvida o affilata a causa di un violento impatto, ecc., evitare il contatto con tali componenti poiché possono causare lesioni.
- Nel caso il filo rimanga impigliato durante la pesca, non provare a forzare il recupero usando la canna o il mulinello, cerca invece di proteggere le tue mani con un panno e tirare il filo, lasciando il filo recuperato il più vicino possibile alla zona di pesca.
- Fai attenzione a non far cadere il mulinello al suolo. L'impatto potrebbe rompere il mulinello.
- Nonimmergere mai il mulinello nell'acqua o nella sabbia. Questo potrebbe causare il malfunzionamento del mulinello.
- Tenere il mulinello fuori dalla portata dei bambini piccoli. Incidenti inaspettati potrebbero accadere.
- Stringere la frizione quando si pesca duramente. Se la frizione slitta, il filo potrebbe ferire le tue dita.
- Utilizza i mulinelli solo per pescare.
- Fai attenzione a non macchiare i vestiti con l'olio o il grasso dei mulinelli.
- Segui le istruzioni d'uso con cautela. Durante il trasporto, presta particolare attenzione a non far urtare il mulinello ed evita che venga a contatto con altri ingranaggi all'interno della borsa poiché si potrebbero verificare dei danni.
- Guarda sempre dietro di te prima di lanciare per evitare di ferire qualcuno.
- Fai attenzione alle tue mani quando il rotore e la manovella stanno girando velocemente.

⚠ VARNING Vänligen notera nedanstående för din säkerhet

- Kom ihåg att öppna bygeln innan kast. Linan kan annars brista och skada någon.
- För modeller med valbar backspärr, se till att backspärren är aktiverad när du kastar. I annat fall kan veven röra sig bakåt och skada handen.
- För modeller med valbar backspärr, var försiktig när du fiskar samtidigt som backspärren är inaktiverad. När en fisk hugger kan veven röra sig bakåt och träffa handen.
- Håll fingrarna borta från linan när den lämnar spolen snabbt så att du inte skadar fingrarna.
- I händelse av att t.ex. beläggningen eller den målade finishen har slitits bort eller om materialens yttre ytor har blivit skrovliga eller vassa på grund av t.ex. kraftiga stötar, ska du undvika kontakt med sådana delar, eftersom de utgör en risk för skada.
- Om linan trasslar när du fiskar försök inte att frigöra det med hjälp av spöt eller rullen, skydda istället dina händer med en bit tyg, t.ex. en trasa, dra sedan i linan och försök att lämna så litet som möjligt av linan kvar I vattnet.
- Var försiktig så att du inte tappar rullen i marken, den kan skadas vid kraftiga stötar.
- Sänk inte rullen ner i vatten eller i sand, eftersom detta kan förorsaka funktionsfel.
- Håll rullen borta från småbarn eftersom de kan skada sig på rullen.
- Dra åt bromsen när du gör kraftfulla kast. Om bromsen slirar kan linan skada fingret.
- Använd endast rullen för fiske.
- Var försiktig med dina kläder så att de inte fläckas av smörjmedel från rullen.
- Följ hanteringsanvisningarna med omsorg. Se särskilt till att inte kasta rullen eller låta den komma i kontakt med annan utrustning inuti din väska när du transporterar rullen, eftersom detta kan förorsaka skador.
- Titta alltid bakåt innan du kastar så att du inte skadar någon.
- Håll händer och fingrar borta från rotorn och veven när dessa roterar snabbt eftersom du kan skadas.

⚠ Внимание Примите во внимание для Вашей безопасности

- Не забудьте открыть дугу лесоукладывателя при забрасывании. Леска может порваться и нанести кому -либо увечья.
- При использовании моделей, оснащенных стопором обратного хода, убедитесь, что во время заброса стопор включен. В противном случае рукоятка может провернуться назад и повредить вам руку.
- Будьте осторожны, если во время использования моделей, оснащенных стопором обратного хода, вы ловите рыбу с отключенным стопором. При резкой поклевке рукоятка может провернуться назад и ударить вашу руку.
- Убирайте пальцы от лески при раскрутке барабана катушки. Вы можете пораниться.
- В случае, если покрытие или окрашенная отделочная поверхность и т.д. износились или внешняя поверхност ь материалов стала шероховатой ил и острой по причине ударов и т.д., избегайте соприкосновения с такими частями, поскольку они представляют риск получения травм.
- При запутывании лески за корягу не старайтесь вытянуть ее удилищем или накручиванием катушки. Вооружитесь полотенцем и тяните леску рукой, оставляя как можно меньше лески.
- Будьте осторожны, не роняйте катушку на землю. Катушка может повредиться от сотрясения или удара.
- Никогда не погружайте катушку в воду или песок. Это может повредить катушку.
- Во избежание несчастных случаев храните катушку вне досягаемости маленьких детей.
- Затягивайте регулятор фрикционного тормоза при жестком забросе. Если регулятор соскользнет, Вы можете поранить пальцы.
- Используйте катушку только в целях рыбной ловли.
- Будьте осторожны, не испачкайте одежду маслом или смазкой катушки.
- Внимательно следуйте инструкциям по эксплуатации. При транспортировке будьте особенно осторожны, чтобы не потерять катушку и чтобы она не соприкасалась с другим оснащен ием, находящимся в Вашей сумке, поскольку это может стать причиной повреждения.
- Оглянитесь назад перед забросом, чтобы не поранить стоящего позади Вас.
- Следите за руками и пальцами при быстром вращении ротора и рукоятки. Вы можете повредить руку.

⚠ 注意 安全与使用上的注意点，使用前请务必阅读

- 抛投时请勿忘记将导线环归位。否则可能会切线并让钓组飞向意想不到的方向，让周围的人受伤。
- 在抛投拥有逆止开关切换功能的渔轮时，请保持逆止开关ON，不然抛投手把可能会逆转，导致碰撞手而受伤。
- 在逆止开关处于OFF的状态下钓鱼时，手把可能会逆转，导致碰撞手而受伤。
- 快速出线时请不要触碰渔线，可能会割伤手指。
- 当镀层或者涂装表面脱落，或渔轮在撞击后表面出现锐利封口时，请不要触碰此部位，可能会导致受伤。
- 挂住其他物体时，请不要用蛮力拉拽鱼竿或渔轮，用毛巾或者布条缠绕住线，或将鱼线缠绕在坚固棒状物上，慢拉开，否则可能会对渔轮造成损害。
请不要用剪刀剪断鱼线，现场遗留很多渔线会破坏环境。
- 请注意不要摔落渔轮！渔轮安装在鱼竿上时，如果摔在柏油、水泥等路面，渔轮脚部可能会摔断。
- 请不要将渔轮放置在沙地或水中，渔轮内部进沙子或者水会导致渔轮发生故障。
- 请将渔轮放置在婴幼儿接触不到的地方，否则可能会发生事故。
- 远投时卸力过小会可能会导致手指被割伤，请务必将卸力旋紧后抛投。
- 请不要将渔轮用于钓鱼之外的用途。
- 渔轮的旋转部分附着润滑油，请注意可能会弄脏衣物。
- 请小心使用渔轮。拿放时不要手乱扔，携带时，如存放在包内，请注意与其他物品碰撞可能会损坏。
- 抛投前请注意周围环境，注意安全。
- 请不要接触转动中的手把和旋转盘等位置，可能会受伤。

Istruzioni d' uso ※ L'immagine potrebbe non essere essere esattamente identica al prodotto

■Come utilizzare la leva antiritorno
(Anti-reverse lever)
※In dotazione solo su alcuni modelli.

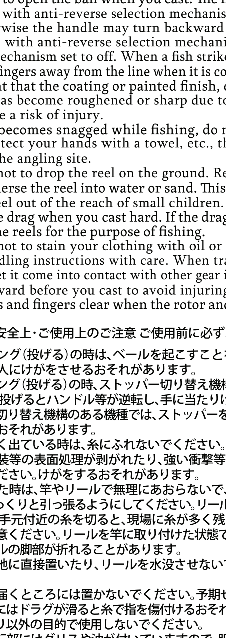
●ON La manovellapuo girare solo in avanti.

●OFF La manovella può girare sia in avanti che in dietro.

■Cambiare laposizione della manovella da sinistra a destra

●**Manovella con alberino filettato**
①Rimovi il tappo opposto alla manovella(*)
②Gira la manovella in senso orario e estrai la manovella.
③Riassembla la manovella dalla parte opposta.
④Riposiziona il tappo opposto alla manovella.

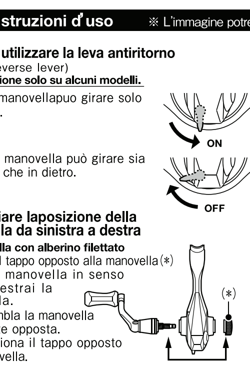
●**Stile a tappo fisso**
①Gira il tappo opposto alla manovella (*) in senso orario e rimuovilo.
②Rimuovi la manovella e riposizionala sul lato destro. Riposiziona il tappo opposto alla manovella sul lat o sinistro.
③Stringi il tappo opposto alla manovella girandolo in senso orario.



* Alcuni modelli richiedono la sostituzione dell'alberino filettato della manovella (in dotazione) quando si sostit uisce la posizione della manovella.

* Quando installi la manovella, ruota l' alberino per avvicinarl o al gambo della manovella prima di serrare il tappo a vite della manovella stessa. Se lasci uno spazio, il tappo non si avvita completamente e causa del gioco nella manovella. Inoltre, se il tappo è avvitato troppo fermamente potrebbe danneggiare il filetto e nei casi più gravi non sarà possibile installare il tappo.

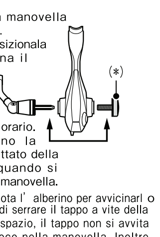
■Avvolgere il filo in bobina
①Monta il mulinello sulla canna
②Stringi la frizione
③Lega il filo alla bobina e usa degli adesivi per fermare il filo.
④Gira la manovella una volta per iniziare ad avvolgere il filo. Quindi, gira la "bobina di filo" in posizione verticale (vedi figura) e fai pressione sulla "bobina di filo" continuando ad avvolgere fino a quando la bobina è piena.
* Tenuta di contrasto
Con alcuni prodotti è inclusa una tenuta di contrasto. Utilizzala quando inizi ad avvolgere il filo sulla bobina.



●**Limite consigliato per la capacità della bobina**
Le nostre bobine riducono la possibilità di grovigli durante il lancio. Per avere il 100% delle performance, avvolgi il filo fino a quando raggiunge il bordo inferiore della svasatura. Non avvolgere troppo filo in bobina.

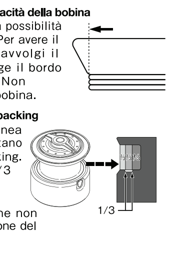
■**Linea di demarcazione del backing**
Esistono bobine con una linea di demarcazione che ti aiutano ad avvolgere il filo backing. Ogni marcatura mostra 1/3 del volume della manovella.

*Ci sono alcuni modelli che non hanno la linea di demarcazione del baking.

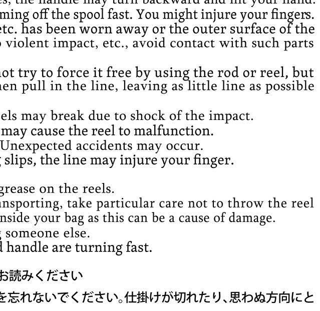


■Come regolare la disposizione del filo in bob ina
A. Impostazione come al momento della c onsegna
B. Per bobinare il filo maggiormente verso il basso
Aumenta il numero di spessori (*) sull'alberino
C. Per bobinare il filo maggiormente verso l'alto
Diminuisci il numero di spessori (*) sull'alberino

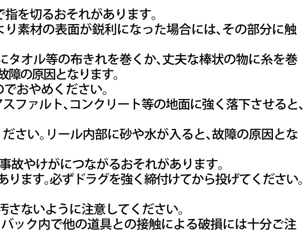
■Rego lazione della tensione de lla frizione
La regolazione della tensione della frizione permette la rotazione della bobina e previene la rottura del filo quando un pesce al lamato tira con forza il filo.
①Monta il mulinello sulla canna e fai passare il filo attraverso gli anelli.
②Con la leva Anti-ritorno in posizione ON, tira il filo come indicato nel diagramma, e regola la tensione del Girando tappo frizione in senso orario tappo frizione(*). manopola aumenterà la tensione e retromarcia lo diminuirà.
③Come regola generale, regola la tensione della frizione in base al carico di rottura del filo (tensione leggermente inferiore per far fuoriuscire il filo). Inoltre, ricordati di stringere il tappo della frizione quando lanci a lunga distanza, per evitare che la frizione slitti con il rischio di ferire le mani o le dita con il filo.



■Lanciare
①Tieni il filo con il dito. Fig 1.
②Apri l'arche tto nella posizione mostrata in Fig 2.
③Fluttua la canna e lancia.
*Si prega di stringere la frizione quando lanci. Se la frizioneè troppo libera, c'è il rischio di tagliarsi le dita per la rotazione della bobina.



■Rimozione e appicazione della bobina
●**Rimozione**
Gira semplicemente il tappo frizione in senso antiorario.
●**Applicazione**
Gira lentamente la bobina a sinistra e a destra fino a un massimo di 90° mentre la infili nell' alberino della bobina, fino a quando l'alberino della bobina attraversa completamente la bobina stessa. quindi fissala girando il tappo della frizione in senso orario.

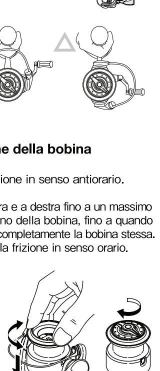


Precauzioni per il mantenimento

Dopo l'utilizzo in mare e prima di ritirare il tuo mulinello, rimuovi i redidui di sale e asciuga a fondo secondo i punti indicati alla voce "Manutenzione dibase per l'uso in ambienti diacqua salata".

①Rimuovi sempre il mulinello dalla canna prima di ritirarlo. Se il mulinello viene risciaquato ancora montato sulla canna, c'è la possibilità che l'acqua di mare depositatasi nella placca portamulinello e sul gambo del mulinello rimanga anche dopo il risciaquo.

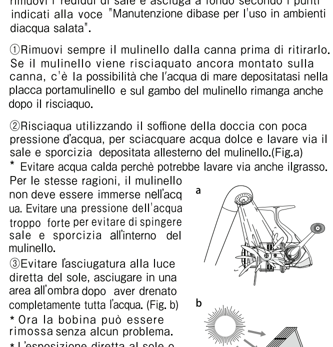
②Risciaqua utilizzando il soffione della doccia con poca pressione d'acqua, per sciacquare acqua dolce e lavare via il sale e sporcizia depositata allesterno del mulinello.(Fig.a)
* Evitare acqua calda perchè potrebbe lavare via anche ilgrasso. Per le stesse ragioni, il mulinello non deve essere immerse nell'acq ua. Evitare una pressione dell'acqua troppo forte per evitare di spingere sale e sporcizia all'interno del mulinello.
③Evitare l'asciugatura alla luce diretta del sole, asciugare in una area all'ombra dopo aver drenato completamente tutta l'acqua. (Fig. b)
* Ora la bobina può essere rimossa senza alcun problema.
* L'esposizione diretta al sole o all'aria calda da phon potrebbe causare la condensazione all'interno del corpo.
④Olio & Grasso Usa olio e grasso correttamente come descritto nei punti illustrati di seguito. L'utilizzo di uno spray lubrificante non-Shimano potrebbe contenere detergenti e sgrassanti che potrebbero rimuovere il grasso e lolioche protegge i mulinelli e così causare una corrosione prematura o danni al mulinello. Non inserire olio nella frizione.



《Lubrificazione》

●Non inserire del grasso all'interno del cuscinetto roller e non spruzzare all'interno del rotore. L' Anti-ritorno potrebbe non funzionare correttamente.

●Punti che richiedono lubrificazione



●：Olio　■：Grasso　▲：Olio o Grasso

* L'immagine è differente dai prodotti attuali.

⑤**Precauzioni per il mantenimento**
Rimuovere sempre il mulinello dalla canna prima di ritirarlo. Lasciare il tuo mulinello in uno spazio chiuso (per esempio il baule della macchina, il vano di una barca), in ambienti estremamente caldi, in condizioni diumidità, potrebbe compromettere la sua capacità alla resistenza agli effetti della corrosione. Asciugare bene il mulinello e conservarlo in un luogo ben ventilato.

《Video sulla manutenzione》

Questo video contiene informazioni sul metodo di pulizia, ecc. Può essere visualizzato qui.

Bruksanvisning ※Bilden kanske inte är helt överensstämmande med produkten.

■Användnin g av antibackslaget
※Finns endast på vissa modeller

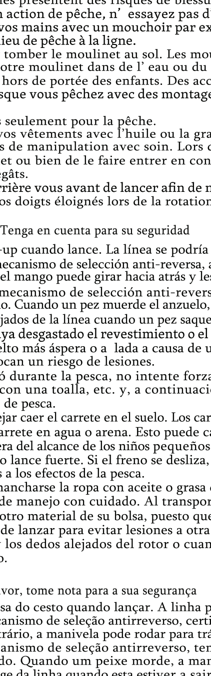
●ON Handtaget kan endast föras framåt.

●OFF Handtaget kan röras såväl framåt som bakåt.

■Ändra vevens placering från vänster till höger.

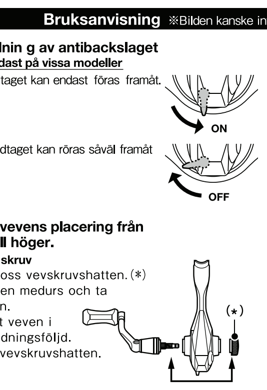
●**Vev med skruv**
①Skruva loss vevskruvshatten.(*)
②Vrid veven medurs och ta loss veven.
③Sätt fast veven i motsatt ordningsföljd.
④Sätt på vevskruvshatten.

●**Fixerad kapsel**
①Avlägsna vevlocket på rullens högra sida genom att skruva moturs.
②Avlägsna veven genom att veva den medurs och montera den på rullens högra sida.
③Skruva på vevlocket på rullens vänstra sida.
*Vissa modeller kräver även en montering av en vevaxel när veven byter sida.



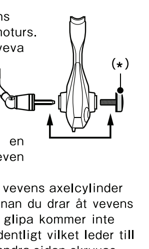
* När du installerar veven, vrid vevens axelcylinder så att denär intill vevskaftet innan du drar åt vevens skruvkapsel. Omdu lämnar en glipa kommer inte kapseln att kunna skruvas i ordentligt vilket leder till glapp i veven. Om kapseln å andra sidan skruvas i för hårt kan gängningen förstöras, och i värsta fall kommer det inte att vara möjligt att sätta på kapseln.

■Linapplicering
①Placera rullen på spöt.
②Dra åt bromsen.
③Knyt fast linan på rullspolen och säkraden med en sticker.
④Vevaen gång så att linan fångas upp. Vänd upp linspolen i vertikalt läge (se bild) och sätt lite press på linspolen, fortsätt att veva under lätt press tills rullspolen är full.
*Stopptätning
En stopptätning ingår som tillbehör till vissa produkter. Använd denna när du börjar trä linan på spolen.



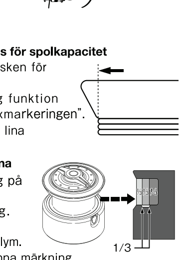
●**Rekommenderad gräns för spolkapacitet**
Våra spolar reducerar risken för backslag när du kastar.
För att uppnå 100%-ig funktion spolaslinan upp till "maxmarkeringen". Spola inte på för mycket lina på rullspolen.

■**Märkning för backinglina**
Det finns men märkning på rullspolen till hjälp för applicering av backing. Varje märke visar 1/3-del av rullspolens volym.
*Vissa rullar har inte denna märkning.

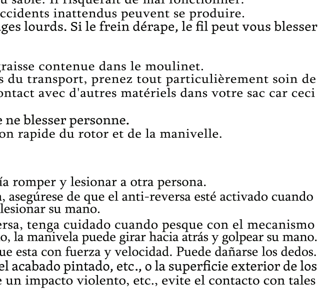


■Justering av linans placering på rullspolen
A. Linprofil vid leverans
B. Linprofil bakåt på spolen uppnås genom att öka antalet brickor på spolaxeln.
C. Linprofil framåt på spolen uppnås genom att minska antalet brickor på spolaxeln.

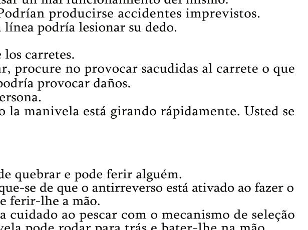
■Bromsens justering
Genom att justera bromsen kan spolen rotera tillräckligt mycket för att undvika linbrott när fisken hugger och drar hårt i linan.
①Montera rullen på spöt och led linan genom spöringarna.
②Med antibackslaget på dras linan ut så som visas i diagrammet och bromsen justeras. När bromsspaken dras åt medurs ökar den bromskraften och backar till reducerar det.
③Generellt sett bör bromsen justeras så att linan börjar matas ut straxinnan dess brottstyrka uppnåtts. Dessutom bör alltid bromskraften ökas när du gör ett långt och kraftfullt kast eftersom bromsen annars kan släppa taget och eventuellt skada dig.



■Kast
①Ta tag ilinan med ditt finger. Fig 1.
②Öppna bygeln till positionen enligt Fig 2.
③Svinga spöt och kasta.
*Dra åt bormsen ordentligt när du kastar. Om bromsen är för lågt ställd kan ditt finger skadas av spolen.



■Spolens demontering och montering
●**Demontering**
Vrid bromsknappen moturs.
●**Montering**
Vrid långsamt spolen till vänster och höger upp till 90° medan du för den över spolaxeln tills det att spolaxen har gått igenom hela spolen. säkra spolen genom att gänga på bromsknappen medurs.



Förvaringsanvisningar

Efter användning av rullen i saltvatten och innan den ska förvaras tas saltbeläggningar bort och rullen torkas av noggrant enligt anvisningarna under GRUNDLÄGGANDE UNDERHÅLL FÖR ANVÄNDNING I SALTVATTEN.

①Ta alltid av rullen från spöt innan förvaring. Om en påmonterad rulle spolas av kan saltvatten stanna kvar mellan rullfoten och spöts rullsäte med skador som följd.

②Vid avspolning bör ett duschmunstycke användas under lågt tryck för att avlägsna ytlig smuts.(Fig.a)
*Undvik hett vatten då det kan lösa upp smörjmedel. Av samma orsak bör inte heller rullen sänkas ned i vatten. Undvik vatten under högt tryck eftersom salt och smuts kan tryckas in i rullen.

③Undvik direkt solljus vid torkning. Låt istället rullen torka på en skuggad plats efter att vatten noggrant torkats av. (Fig.b).
*Spolen kan nu avlägsnas utan problem.

*Exponering i direkt solljus eller från hetluft från en hårtork kan förorsaka kondensation inuti rulen.

④Använd olja och fett korrekt som indikeras nedan. Användning av annan smörjning i sprayform än Shimanos avråds då dessa kan innehålla rengörande eller fettlösande ämnen som avlägsnar olja och fetter som ska skydda rullen från korrosion. Använd aldrig olja i bromsmekanismen.

《Centralsmörjning》

●Applicera inte smörjfett på insidan av rullagret och spreja inte insidan av rotorn.Det kan leda till att backspärren inte fungerar ordentligt.

●Delar som behöver smörjning

●：Olja　■：Fett　▲：Olja eller fett

* Bilden kan avvika från den faktiska produkten.

⑤**Försiktighetsåtgärder vid förvaring**
Demontera alltid rullen från spöet före förvaring. Om rullen lämnas i ett stängt utrymme (t.ex. i bagageluckan eller en förvaringsbox i en bil eller i ett förvaringsfack i en båt) under extremt varma och fuktiga förhållanden, så kan det hända att rullens rostskyddsförmåga äventyras.Torka rullen ordentligt och förvara den på en välventileradplats.

《Underhållsvideo》

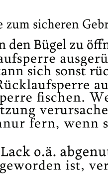
Den här videon innehåller information om rengöringsmetod m.m. Titta på den här.

Инструкция по эксплуатации ※Рисунок может не совпадать с реальным продуктом.

■Как использовать механический стопор обратного хода
※Оснащены только некоторые модели.

●ON ручка крутится только вперед

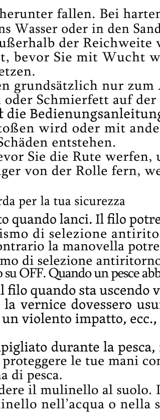
●OFF ручка крутится вперед и назад



■Смена позиции рукоятки слева направо

●**Вкручивающийся стиль рукоятки**
①Снимите крышку винта рукоятки.
②Поверните рукоятку по часовой стр елке и отсоедините блок ручки.
③Снова соберите в обратн ом порядке.
④Поставьте крышку винта рукоятки на место.

●**С крышкой винта, закрепленной неподвижно**
①Поверните крышку винта рукоятки против часовой стре лки и снимите ее
②Снимите рукоятку и поместите ее на правую сторону. Поставьте крышк увинта рукоятки на левой стороне.
③Затяните винт рукоятки, поворачивая ее по часовой стрелке.
*Некоторые модели требуют новый вал рукоятки при смене позиции рукоятки.



*При установке рукоятки поверните ворот вала рукоятки, чтобы приблизить его к стержню рукоятки, прежде чем затягивать крышку винта рукоятки. Если оставить зазор, крышка не будет полностью завинчена, что приведет к нежелательному свободному ходу рукоятки. Кроме того, если крышка завинчена слишком туго, это может повредить резьбу, и в худшем случае установить крышку винта рукоятки будет невозможно.

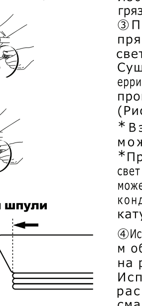
■Намотка лески
①Присоедините катушку к удилищу
②Затяните регулятор фрикционного тормоза
③Привяжите леску к шпуле и стикерами закрепите леску
④Сделайте один оборот рукоятки для начал анамотки лески. Затем поверните шпулю вертикально вверх и приложите усилие на леску. Продолжайте наматывать в состоянии напряженной лески до полного заполнения шпули.
*Уплотнение заглушки
Уплотнение заглушки входит в комплект вспомогательных принадлежностей некоторых изделий. Используйте это, когда начинаете наматывать леску на шпулю.

●**Рекомендуемый лимит емкости шпули**
Наши шпули уменьшают люфт при забросе.
Для достижения 100% показателей наматывайте леску до линии стрелок.
Не наматывайте слишком много лески на шпулю.

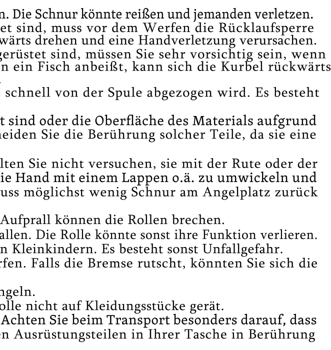
■**Отметка бэкинга лески**
На шпуле имеются отметки для прило жения бэкинговой лески. Каждая отметка показывает 1/3 объема шпули.
*Некоторые модели не имеют отметок бэекинга лески.

■Как изменить форму намотки лески на шпулю
A. Установка при доставке
B. Для того, чтобы установить намотку больше на заднюю часть шпули увеличьте размер шайбы на валу шпули
C. Для того, чтобы установить намотк у больше на переднюю часть шпули уменьшите размер шайбы на валу шпули

■Регулирование состояния фрикционного тормоза
Регулирование состояния фрикционного тормоза позволяет шпуле вращаться и предотвращает повреждение лески, когда подцепленная на крючок рыба с силой натягивает ее.
①Установите катушку на удилище и проведите леску через направляющие кольца
②С отключенным антиреверсом потяните леску, как показано на диаграмме и отрегулируйте затяжку на ручке тормоза. Поворачивая ручку тормоза по часовой стрелке для увеличения напряженности, и заднего хода для его сокращения.
③Как правило, натяжение тормоза устанавливается так, что леска начинает покидать шпулю перед самой точкой обрыва. Кроме того, всегда затягивайте ручку тормоза при дальнем забросе, иначе тормоз может соскользнуть, что приведет к травме руки или пальцев леской.

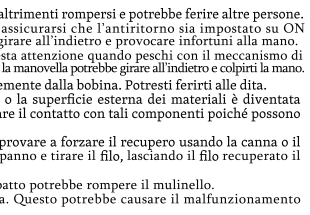


■Заброс
①Захватите леску пальцем. Рисунок 1.
②Откройте дужку лесоукладывателя до позиции, показанной на рисунке 2.
③Замахнитесь и произведите заброс.
*Обязательно тщательно затяните тормоз при забросе. Если тормоз ослаблен, возникает возможность пореза пальца вращающейся шпулей.



■Снятие и установка шпули.
●**Снятие**
Просто поверните ручку тормоза против часовой стрелки.

●**Установка**
Медленно поворачивайте шпулю влево и вправо под углом до 90°, надевая ее на ось шпули, пока ось шпули не пройдет полностью через шпулю, Затем затяните ее повернув ручку тормоза по часовой стрелке.



Меры предосторожности при хранении

①При хранении всегда отсоединяйте катушку от удилища. Если споласкивать катушку на удилище, то между катушкодержателем и ножкой катушки даже после тщательного ополаскивания остается соль.
②Ополаскивайте из лейки душа, споласкивание под низким давлением смываемая соль и грязь оседают на корпусе катушки.(Рисунок а)*Не применяйте для споласкивания горячую воду, так как она может смыть смазку. По той же причине катушка не должна погружаться в воду. Избегайте слишком сильного напора вода, грязь и соль могут попасть внутрь катушки.
③При просушке избегайте прямого солнечного света.
Сушите в затененных территориях после тщательного промокания полотенцем.(Рисунок в)
*В это время шпулю легко можно снять.
*Прямой солнечный свет или горячий воздух фена может привести к образованию конденсата внутри корпуса катушки.
④Используйте смазку правильны м образом, как показано на рисунках ниже. Использование распыляемых смазочных материалов содерж ащих очистители, произведенных не Shimano, может привезти к смытиюсмазки и масла, защищающих катушку. Это, в свою очередь, может привести к коррозии и повреждению катушки.
Не смазывайте маслом тормоз.

《Смазка》

●Не наносите смазку внутрь шарикоподшипника или внутрь ротора. Система антиреверсного стопора может от этого не работать правильно.
●Где нужна смазка

●：масло　■：смазка　▲：масло или смазка

*Рисунок может отличаться от реального продукта

⑤**Меры предосторожности при хранении**
Всегда отсоединяйте катушку от удилища перед помещен ием на хранение. Хранение Вашей катушки в закрытых мес тах (таких как багажник автомобиля или багажное отделе ние лодки), в чрезвычайно жарких и влажных условиях, мо жет подвергнуть опасности ее способность противостоя ния коррозии. Хорошо просушивайте катушку и храните ее в хорошо проветриваемом месте.

《Видео о техническом обслуживании》

В этом видео содержится информация о способе очистки и т. д. Его можно посмотреть здесь.

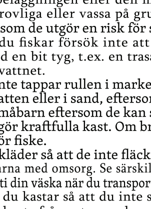
使用方法・渔轮的准备 ※说明书中的图片和实际产品可能有不同。

■逆止开关的操作方法
※仅一部分产品搭载该功能

通常情况下，开关状态为ON。

●ON：停止逆转，手把只能正方向转动。

●OFF：解除停止逆转，手把正反方向都可以转动。

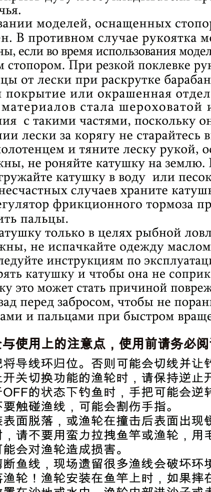


■手把的左右交换方法

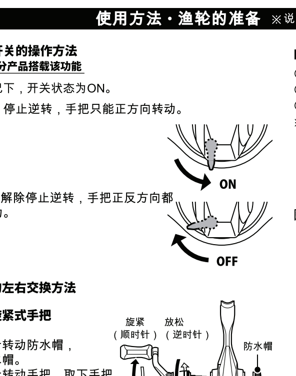
●**螺栓旋紧式手把**
①逆时针转动防水帽，取下防水帽。
②逆时针转动手把，取下手把。
③左右交换，顺时针转动安装手把。
④顺时针转动安装防水帽。

※手把左右交换时，一些机型需要对应的手把轴。
※安装手把时，需要对准转动轴并贴近手把后旋紧。
这是为了防止留下空隙，避免手把不完全拧紧、引起卡顿。
另外，旋紧时用力过猛可能会损坏内部部件，甚至无法安装。

●**防水帽固定式手把**
①逆时针转动防水帽，取下防水帽。
②取下手把并左右交换。
③顺时针转动安装防水帽。



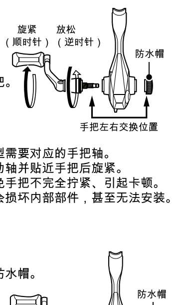
■上线方法
①把渔轮安装在鱼竿上。
②拧紧卸力旋钮。
③将渔线穿过手把节导环并连接线杯，用胶带固定。
④如下图所示，让线盘呈竖起状态，保持渔线在有张力状态下上线。



●**线杯推荐容线量**
收线到如图所示位置为止。
收线超过该位置可能会无法发挥AR-C线杯的性能。

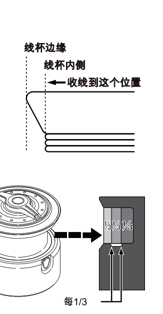
■备用线参考线
容线范围内的每1/3处有标记。当容线量是150m的情况下，在每50m处有标记。

※有些产品没有参考线或参考线为1/2的型号。

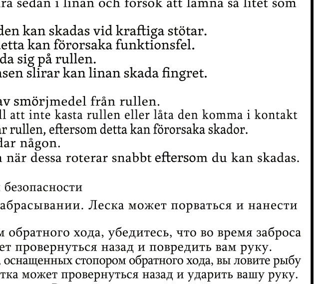


■上线形状调整方法
图B状态下，增加线杯调整垫圈后，会变得接近图A状态。
图C状态下，减少线杯调整垫圈后，会变得接近图A状态。
推荐在图A状态下使用渔轮。

■调整卸力的方法
卸力装置是通过调整卸力大小，应对鱼突然上钩时，防止线杯逆转后 切线的构造。
①将渔轮安装在使用的鱼竿上，鱼线穿过鱼竿导环。
②顺时针转动卸力旋钮加强卸力，逆时针转动则减少卸力。
③逆止开关ON的状态下，如图所示一边拉拽线一边调整卸力大小。

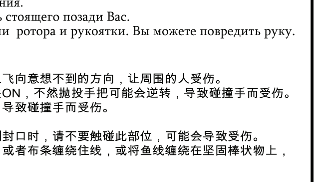


■抛投方法
①如图1所示，将渔线挂在食指上。
②如图2所示，让导线环处于适合位置。
③挥动鱼竿并抛投。
※如果卸力调整太松，可能会让线杯逆转，使渔线割伤手指。



■装卸线杯的方法
●**卸下线杯的方法：**
逆时针转动卸力旋钮直到线杯可卸下。

●**安装线杯的方法：**
左右旋转并调整线杯，使之按压后能完全接触到底部。之后顺时针转动卸力旋钮拧紧固定线杯。



保养方法

尤其在海水环境使用渔轮后，为防止生锈和盐分附着在渔轮上导致部件损坏，推荐钓友钓鱼后按以下方法保养渔轮。

①请务必将渔轮从鱼竿上取下
在使用完渔轮后，务必将渔轮从鱼竿上取下，用清水洗净后保管。如果水洗后没有取下渔轮并任由其放置在鱼竿上，渔轮渔脚部和鱼竿渔轮座部会残留海水，可能会导致腐蚀生锈。

②请用常温水冲洗
在使用完渔轮后，可用淋浴喷头冲洗。首先，为了防止水进入卸力装置内部，请拧紧卸力旋钮。然后用淋浴喷头并用常温水冲洗附着在渔轮上的盐分，砂砾，污垢等。(图a)
用温水的话可能会冲洗掉润滑油，所以请避免使用温水。另外，请不要将渔轮放入水中。

③请晾干渔轮
冲洗结束后，请擦干渔轮表面并放置在阴凉干燥处，晾干时可取下线杯。请不要使用吹风机、避免阳光直射，这会使渔轮内部过热。

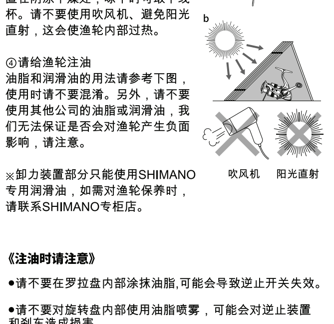
④请给渔轮注油
油脂和润滑油的用法请参考下图，使用时请不要混淆。另外，请不要使用其他公司的油脂或润滑油，我们无法保证是否会对渔轮产生负面影响，请注意。

※卸力装置部分只能使用SHIMANO专用润滑油，如需对渔轮保养时，请联系SHIMANO专柜店。

《注油时请注意》

●请不要在罗拉盘内部涂抹油脂，可能会导致逆止开关失效。

●请不要对旋转盘内部使用油脂喷雾，可能会对逆止装置和刹车造成损害。



●：推荐使用润滑油　■：推荐使用油脂　▲：润滑油或油脂

⑤**保管方面的注意**
保存时请务必将渔轮从鱼竿上取下。
另外，请尽可能保存在干燥阴冷处。如果渔轮上有水分且长时间在高湿度状态下密封空间中放置的话（车的后备箱，挡风玻璃等），可能引起腐蚀。

《维护视频》

本视频包含关于清洁方法等内容的信息。
可点击此处观看。

Operating instructions ※The picture may not be exactly the same as the product

■How to use Anti-reverse lever
※ Only equipped with some models.

●ON The handle can only turn forward.

●OFF The handle can turn forward and backward.

■Changing handle position from left to right

●Screw in handle style
①Remove the handle screw cap.(*)
②Turn the handle clockwise and detach the handle assembly.
③Reassemble in reverse order.
④Put on the handle screw cap.

●Fixed cap style
①Turn the handle screw cap(*) counter clockwise and remove the handle screw cap.
②Remove the handle and place it on the right side. Replace the handle screw cap on the left side.
③Tighten the handle screw cap by turning it clockwise.

※There are some models that require a handle shaft change when you switch the handle position.
※When installing the handle, turn the handle shaft barrel to move it close to the shank of the handle before tightening the handle screw cap. If a gap is left, the cap will not screw in fully and cause play in the handle. In addition, if the cap is screwed in too tightly, it may damage the thread, and in the worst case it will not be possible to install the cap.

■Winding line
①Attach the reel on rod
②Tighten the drag
③Tie the line on the spool and then use stickers to secure the line.
④Turn the handle one time to begin winding the line. Then, turn the "line spool" vertical (see picture) and put pressure on the "line spool", continue winding under tension until the spool is full.

※Stopper seal
A stopper seal is included as an accessory with some products.
Use this when starting to wind the line onto the spool.

●Suggested limit of line capacity
Our spools reduce backlash when you cast. To gain 100% performance, wind the line to "Arrowed line". Don't wind too much line on the spool.

■Backing line mark
There are spool marks to help you apply backing line. Each mark shows 1/3 of spool volume.
* There are some models which don't have a Backing line mark.

■ How to adjust line shape on the spool
A. Setting upon delivery
B. To set to wind more to the back Increase the number of washer(*) on the spool shaft
C. To set to wind more to the front Reduce the number of washer(*) on the spool shaft

■Drag tension adjustment
Adjustment of drag tension allows the spool to rotate and prevent line breakage when a hooked fish pulls hard on the line.
①Mount the reel on the rod and pass the line through the guides.
②With the Anti reverse turned on, pull on the line, as indicated in the diagram, and adjust the tightness of the drag knob(*). Turning the drag knob clockwise will increase the tension, and reverse to reduce it.
③As a general rule, adjust the drag tension so that line begins to feed off the spool just before the breaking point. Moreover, always tighten the drag knob when making a long cast, as the drag could slip and result in injury of hand or fingers on the line.

■Casting
①Grab the line with your finger. Fig 1.
②Open the bail at the position which is shown on Fig 2.
③Swing the rod and cast.
* Please tighten the drag enough when you cast. If the drag is too loose, there is a possibility of cutting your finger by the spinning spool.

■Spool removal & attachment
●Removal
Simply turn the drag knob counterclockwise.
●Attachment
Slowly turn the spool to the left and right by up to 90°while sliding it onto the spool shaft until the spool shaft has passed all the way through the spool, then knob clockwise.

Precautions Concerning Storage

After use in a saltwater environment and before storing your reel, remove residual salt and dry thoroughly according to the points noted under Basic Maintenance for Use in Saltwater Environments.

①Always remove the reel from the rod before storage. If the reel is rinsed off while mounted on the rod, seawater that has accumulated in the reel seat hood and the reel leg will often remain even after rinsing.

②Rinsing Use a showerhead, etc., under low pressure to rinse with fresh water and wash away salt and dirt adhering to the exterior of the reel.
(Fig.a) *Avoid heated water as it may also wash away grease. For the same reason, the reel should not be immersed in water either. Avoid high pressure wash as it will push salt and debris into the reel.

③Drying Avoiding direct sunlight, let dry in a shaded area after thoroughly draining off all water. (Fig.b)
*The spool can be removed at this time with no problems.
*Exposure to direct sunlight or hot air from a dryer can cause condensation to occur on the interior of the frame.

④Oil & Grease Use oil and grease correctly as indicated at points illustrated below. The use of non-Shimano spray lubricants contains cleaners and degreasers that can actually remove the grease and oil that protect the reel and cause premature corrosion or damage to the reels. Do not put oil into drag.

《Oil injection》
●Do not put grease inside of the Roller bearing or spray inside the rotor. The anti-reverse may not work properly.

●Points requiring Lubricant

● : Oil ■ : Grease ▲ : Oil or Grease

* The picture is different from actual product.

⑤ Precautions Concerning Storage
Always remove the reel from the rod before storage. Leaving your reel in an enclosed space (e.g. car trunk or storage, compartment on a boat) under extremely hot, humid conditions, may compromise its ability to resist the effects of corrosion. Dry the reel well and keep it in a well-ventilated location.

《Maintenance video》
This video contains information on the cleaning method, etc.
It can be viewed here.

使用方法･リールの準備 ※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

■ストッパーレバーの操作方法
※一部の機種のみ搭載しています。
通常は、ストッパーONで使用します。
●ON 逆転止めが作動し、ハンドルは正転方向にしか回りません。
●OFF 逆転止めが解除され、ハンドルは正転、逆転どちらの方向にも回ります。
※ストッパーレバーが無いモデルもあります。

■ハンドルの左右付け替え方法
●ねじ込みハンドルの場合
①ハンドルスクリューキャップを反時計回りに回転させて外します。
②ハンドルを逆転方向に回し取り外す。
③左右を入れ替え、ハンドルを回転方向に回し取り付けます。
④ハンドルスクリューキャップを時計回りに回転させて取り付けます。
※左右付け替え時に、ハンドル軸の交換が必要なモデルもあります。
※ハンドルを取り付ける際は、ハンドル軸ツバを回転させて動かし、ハンドルシャンクに寄った状態で、ねじ込んでください。これらの間に隙間がございますと、ねじ込みが不完全となり、ハンドルガタの原因となります。また、無理にねじ込むとネジ部が削れ、最悪の場合取付できなくなります。

●キャップ固定式の場合
①ハンドルスクリューキャップを反時計回りに回し外します。
②ハンドルを引き抜き左右を入れ替えます。
③ハンドルスクリューキャップで締め付けて固定します。

■糸の巻き方
①リールを竿に取り付けます。
②ドラグを締め込みます。
③元ガイドから糸を通しスプールに結びます。このとき、結び目はテープ等で固定します。
④図のように、糸が巻かれたボビンをタテにして、適度に抑え、糸にテンションをかけながら巻きます。
※糸止めシール
一部の製品には糸止めシールが梱包されています。糸をスプールに巻き始める際、お使いください。

■キャスティング方法
①図1のように人差し指に糸を引っ掛けます。
②図2の位置でベールを起こします。
③竿を振りかぶり、キャスティングをしてください。
※ドラグの締め付けが弱すぎるとスプールが逆転し糸で指を切るおそれがあります。

■スプールの着脱方法
●取り外し方
ドラグノブを反時計回りに外れるまで回してください。
●取り付け方
スプールを左右に90度程度回しながら、完全に底当たりするまで押し込んでください。ドラグノブを時計回りに廻すと締め付けることができます。

お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

①必ず竿から外してください。
使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕するおそれがあります。

②水洗いしてください。
使用後はシャワーでの洗浄が可能です。まず、ドラグ内に水が入らないように、ドラグを締め込んでください。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いしてください。(図a)
温水はグリスを洗い流すおそれがありますのでおやめください。又、同様の理由で、リール本体を水没させないでください。

③乾燥させてください。
しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。その際、スプールを外していただいても問題ございません。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引きこします。お避けください。(図b)

④注油してください。
オイルとグリスは下図を参考にしていただき、それぞれ間違えないように噴霧してください。尚、グリス、オイルは弊社純正品(シマノホームページ参照)をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。
※ドラグ部にはシマノドラグ専用グリス(総合カタログまたはシマノホームページ参照)以外は塗布しないでください。ドラグ専用グリスを必要な方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。

《注油上のご注意》
●ローラークラッチ部には絶対にグリスを塗布しないでください。ストッパー逆転の原因となります。
●ローター内部にはグリススプレーを噴射しないでください。ストッパーやブレーキが利かなくなる原因となります。

●スプール推奨糸巻き量
図の位置まで糸を巻きます。それより多く巻かれますとAR-Cスプールの性能が発揮されない場合があります。

■下巻き目安ライン
全糸巻量の1/3ごとに目安ラインが引いてあります。
全糸巻き量が150mの場合50m毎になります。
※下巻き目安ラインが無いモデルや、1/2のモデルもあります。

■糸巻き形状の調整方法
Bの状態からスプール調整ワッシャを追加するとAの状態に近づきます。
Cの状態からスプール調整ワッシャを抜くとAの状態に近づきます。なるべくAの状態でのご使用をお勧めします。

■ドラグの調整方法
ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れを防ぐ機構です。
①リールを使用するロッドに取り付け、ラインをロッドのガイドに通します。
②ドラグノブを時計回りに回すとドラグ力が強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。
③ストッパーONの状態で図のように糸を引き出しながらドラグの締め付けを調整します。

《メンテナンス動画》
洗浄の方法等を動画で紹介しています。
右のQRコードからご確認ください。

Instructions ※L'illustration peut différer de la situation réelle

■Comment utiliser l'anti-retour
※Uniquement sur certains modèles.

●ON La manivelle tourne seulement vers l'avant.

●OFF La manivelle tourne vers l'avant et vers l arrière.

■Changer la manivelle de gauche à droite
●Manivelle vissée dans le bâti
①Enlevez le capuchon(*)
②Tournez la manivelle dans le sens des aiguilles d'un e montre et enlevez-la.
③Remet tez-la en sens inverse
④Revisse z le capuchon.

●Style de bouchon fixe
①Dévissez le capuchon(*)et enlevez-le.
②Enlevez la manivelle puis mettez-la à droite. Repositionnez le capuchon sur le côté gauche.
③Vissez le capuchon en le tournant dans le sens des aiguilles d'une montre.
*Certains modèles ont besoin de changer d'axe de manivelle pour la changer de sens.

*Lors du montage de la poignée, tournez le barillet de l'axe de la poignée de façon à le rapprocher du corps de la poignée avant de serrer le bouchon à vis de la poignée. S'il reste un écart, le bouchon ne se vissera pas complètement et entraînera un jeu dans la poignée. De plus, si le bouchon est trop serré, il pourrait endommager le filetage et, dans le pire des cas, il pourrait être impossible de monter le bouchon.

■Remplir son moulinet
①Montez le moulinet sur la canne
②Serrez le frein
③Fixez le fil sur la bobine et mettre un «scotch» pour le sécuriser
④Tournez la manivelle une fois pour commencer à bobiner le fil. Puis tournez à la verticale la bobine de fil (voir le schéma), mettre une pression sur la bobine de fil et continuez à bobiner sous tension jusqu'à ce q ue la bobine du moulinet soit remplie.
※Joint d'arrêt
Un joint d'arrêt est inclus en tant qu'accessoire avec certains produits. Utilisez-le lorsque vous commencez à enrouler la ligne dans la bobine.

●Limite suggérée de capacité de la bobine
Nos bobines diminuent le risque de perruques au lancer. Pour une plus grande performance, rem plissez la bobine jusqu'à la ligne fléchée. Ne pas trop remplir son moulinet.

■Marque de "backing"
Les marques sur la bobine vous aident à faire un « backing ». Une marque est présent e sur chaque tiers du volume de la bobine.
*Certains modèles n'ont pas de marque de "backing".

■Comment ajuster la forme de la ligne sur la bobine
A. Réglages d'usine
B. Pour remplir plus vers le bas, augmentez le nombre de rondelles(*)sur l'axe de la bobine C. Pour remplir plus vers le haut, réduire le nombre de rondelles(*) sur l'axe de la bobine

■Régl age de la tension du frein
Régler la tension du frein permet à la bobine de tourner et d'empêcher que le fil ne casse au ferrage ou lorsque le poisson tire fort sur le fil.
①Montez le moulinet sur la canne et passez le fil dans les anneaux.
②Actionnez l'anti-retour, tirez sur le fil comme indiqué sur le schéma, puis ajustez le le serrage du frein(*).
Tourner le frein dans le sens des aiguilles d'une montre à la tension d'augmentations, et l'inverse à réduit.
③Dune manière générale, ajustez la tension du frein de manière à ce que le fil commence à sortir de la bobine avant la limite de rupture. De même, serrez toujours le frein si vous lancez loin pour éviter de vous couper avec le fil.

■Lancer
①Tenez le fil avec votre doigt. Fig 1.
②Ouvrez le pick up comme sur la Fig 2.
③Lance z avec la canne.
*Veuillez-vous assurer davoir serré suffisamment votre frein. Si le frein nest pas assez serré, vous pourriez vous couper avec l e fil.

■Fixer et enlever la bobine
●Enlever la bobine
Tournez simplement le frein dans le sens inverse des aiguilles dunemontre.
●Fixer la bobine
Tournez lentement la bobine vers la gauche et la droite à 90° tout en le faisant glisser sur l'axe de bobine jusqu'à ce que l'axe soit complètement engagé dans la bobine. Puis fixez-la en tournant le frein dans le sens des aiguilles d'une montre.

Précautions Concernant le Stockage

Après un usage en mer et avant de ranger votre moulinet, enlevez les résidus de sel selon la méthode indiquée dans «Entretien de base lors d'un usage en mer».

①Enlevez systématiquement le moulinet de la canne avant de le ranger. Si vous rincez votre moulinet monté sur la canne, l'eau de mer accumulée dans le porte moulinet et la jambe du moulinet ne s'enlèvera pas, même après rinçage.

②Utilisez par exemple une douchette et rincer le moulinet à faible pression à l'eau douce afin d'ôter tout résidu de sel et de saleté présent sur l'exté rieur.
(Fig.a) * Evitez l'eau chaude qui pourrait enlever également la graiss e du moulinet. De même, votre moulinet ne doit pas être immergé dans l'eau. Evitez de le rincer à forte pression pour ne pas faire rentrer de résidu de sel ou de saleté dans le moulinet.

③Pour le sécher, évitez de l'exposer directement au soleil. Laissez-lè sécher à labri du soleil après l'avoir secoué pour enlever un maximum déau. (Fig. b)
* Vous pouvez alors retirer la bobine sans difficultés.
* Expose r le moulinet directement au soleil ou un séchage trop rapide peut entraîner une condensation à l'intérieur du bâti.

④Graissez votre moulinet comme indiqué dans l'illustration ci-dessous. Utiliser un lubrifiant d'une autr e marque que Shimano contenant des agents nettoyants et dégraissants peut enlever la graisse et l'huile qui protègent le moulinet et ainsi entraîner une corrosion dans le moulinet et l'endommager. Ne pas mettre d'huile dans le frein.

《Orifice d'entretien》
●Ne pas mettre de graisse à l'intérieur du roulement, ni vaporiser à l'intérieur du rotor. Cela pourrait endommager l'anti-retour.
●Zones nécessitant une lubrification

● : Huile ■ : Graisse ▲ : Huile ou Graisse

* L'illustration peut différer de la situation réelle.

⑤ Précautions Concernant le Stockage
Toujours enlever le moulinet de la canne avant de le ranger. Laisser votre moulinet dans un endroit fermé (ex : un coffre de voiture ou le compartiment d'un bateau), exposé à une chaleur extrême ou en conditions humides, pourrait endommager sa résistance à la corrosion. Veuillez sécher correctement votre moulinet.

《Vidéo d'entretien》
Cette vidéo contient des informations sur la méthode de nettoyage, etc.
Elle peut être consultée ici.

Manual de instrucciones ※ La imagen puede no ser exactamente la misma que el producto

■Cómo utilizar la palanca Anti-reverse
※Sólo provisto con algunos modelos.

●ON La manivela sólo puede girar hacia delante.

●OFF La manivela puede girar hacia adelante y hacia atrás.

■Cambio de posición de la palanca de izquierda a derecha
●Torn illo de manivela
①Retire la tapa del tornillo de la manija (*)
②Gire la manija hacia la derecha y retire el conjunto del mango.
③Vuelva a montar en el orden inverso.
④Coloque la tapa del tornillo de la manija.

●Estilo de tapa fija
①Gire el tapón de rosca de la manija (*) hacia la izquierda y retire la tapa del tornillo de la manija.
②Retire el mango y colóquelo en el lado derecho. Reemplazar la tapa del tornillo de la manija en el lado izquierdo.
③Apriete la tapa del tornillo de la manija girando en sentido horario.
* Hay algunos modelos que requieren un cambio de eje de la palanca cuando se cambia la posición de la man ija

* Cuando instale la manivela, gire el cilindro del eje de la manivela para acercarlo al vástago de la manivela antes de ajustar la tapa roscada de la manivela. Si queda un espacio, la tapa no se enroscará completamente y causará un juego en la manivela. Además, si se enrosca demasiado puede dañar la rosca y, en el peor de los casos, no será posible instalar la tapa.

■Bobinado línea
①Coloque el carrete en la caña
②Apriete el freno
③Ate la linea en el carrete y luego utilice etiquetas adhesivas para asegurar la linea.
④Gire la manivela una vez para comenzar a enrollar la linea. Luego, gire la "linea del carrete" en vertical (ver foto) y ejerza presión sobre la "Linea de carrete", continúe devanado bajo tensión hasta que el carrete está lleno.
* Sello de bloqueo
En algunos productos se incluye como accesorio un sello de bloqueo. Use esto cuando comience a enrollar la linea en el carrete.

● Límite sugerido de la capacidad del carrete
Nuestros carretes reducen el contragolpe cuando lanzas. Para ganar un 100% en el rend imiento, enrolle la linea de "línea de flecha". No enrolle demasiada linea en el carrete.

■Marca de línea
Hay marcas de bobina que le ayudarán a devanar correctamente la linea. Cada marca muestra 1/3 del volumen del carrete.
* Hay algunos modelos que no tienen una marca de la linea de soporte.

■Cómo ajustar la forma de la línea en el carrete
A. Ajuste a la entrega
B. Ajustando para que rebobine más hacia atrás
Aumentar el número de las arandelas (*) en el eje del carrete
C. Ajustando para que rebobine más hacia el frente Reducir el número de arandelas (*) en el eje de la bobina

■Ajuste de tensión de frenado
El ajuste de la tensión de freno permite que la bobina gire y evita la rotura de la linea cuando un pez enganchado tira con fuerza en la linea.
①Monte el carrete en la caña y pase la linea a través de las anillas.
②Con el Anti-reverse activado, tire de la linea, como se indica en el diagrama, y ajuste la tensión de la perilla de arrastre (*). Al girar la perilla sentido de las agujas arrastre aumenta la tensión, y giro en retroceso a disminuye.
③Como regla genera l, ajustar la tensión de arrastre de modo que la linea comienza a salir de la bobina justo antes del punto de ruptura. Por otra parte, siempre apriete la perilla de arrastre al hacer un lanzamiento largo, ya que la resistencia podría caer y provocar lesiones de las manos o los dedos sobre la linea.

■Lanzado
①Tome la linea con el dedo. Fig. 1.
②Abra la fianza del pickup en la posición que se muestra en la Fig 2.
③Gire la caña y proyecte el lanzado.
* Por favor, apriete el freno suficiente cuando lance. Si la resistencia es demasiado floja, hay una posibilidad de cortarse el dedo por el giro del carrete.

■Manejo de la bobina, sujeción y extracción.
●Extracción
Simplemente gire la perilla de arrastre hacia la izquierda.
●Fijación
Gire lentamente el carrete a la izquierda y a la derecha hasta 90° mientras lo desliza sobre el eje del carrete hasta que este último haya pasado por completo a través del carrete.
Fijar girando la perilla de arrastre hacia la derecha.

Precaucione s relacionadas con almacenamiento

Después de su uso en un entorno de agua salada y antes de guardar su carrete, eliminar la sal residual y secar completa- mente de acuerdo con los puntos señalados en Mantenimiento Básico para su uso en entornos de agua salada.

①Retire siempre el carrete de la caña antes de su almacenamiento. Si el carrete se enjuaga mientras está montado en la caña, el agua de mar que se ha acumulado en el pie del carrete y en el porta carretes, frecuentemente permanecen húmedos incluso después de lavado.

②Para el Enjuague Use un cabezal de ducha, etc, a baja presión para enjuagar con agua dulce y lavar la sal y la suciedad adherida al exterior del carrete.
(Fig.a)* Evite el agua caliente ya que también puede quitar la grasa. Por la misma razón, el carrete no debe ser sumergido en agua. Evitar el lavado a alta presión, ya que impulsará la sal y la suciedad en el carrete.

③Secado Evitar la luz solar directa, dejar secar en un área sombreada a fondo después de drenar toda el agua. (Fig. b)
* En este momento, el carrete puede ser retirado sin problemas.
* La exposición a la luz solar directa o al aire caliente de un secador puede ocasionar la condensación enel interior del cuerpo.

④Use aceite y grasa correctamente como se indica en los puntos ilustrados a continuación. El uso de lubricantes no indicados por Shimano contienen limpiadores y desengrasantes que en realidad se puede eliminar la grasa y el aceite que protege el carrete y causar corrosión prematura o daños en los carretes.No ponga aceite en el freno.

《Inyección de aceite》
●No ponga grasa en el interior del cojinete de rodillo o en el interior del rotor. El sitema anti reverse puede no funcionar correctamente.
●Pun tos que requieren lubricantes

● : Aceite ■ : Grasa ▲ : Aceite o grasa

* La imagen es diferente al producto real.

⑤Precauciones relacionadas almacenamiento
Siempre retire el carrete de la caña antes de su almacenamien to. Dejando su carrete en un espacio cerrado (por ejemplo un coche o compartimiento en un barco), bajo condiciones extremadamente calientes, húmedas, puede poner en peligro su capacidad para resistir los efectos de la corrosión. Seque bien el carrete y guárdelo en un lugar bien ventilado.

《Video sobre el mantenimiento》
Este video contiene información sobre el método de limpieza, etc.
Puede verse aquí.

Instruções de operação ※ A imagem pode não ser exactamente a mesma que o produto

■Como usar a alavanca do Anti-reverso
※Apenas equipado em alguns modelos.

●ON a manivela só pode girar para a frente.

●OFF a manivela pode girar para a frente e pa ra trás.

■Alterando a posição da manivela da esquerda para a direita
●Parafuso em estilo punho
①Remova a tampa de rosca do punho (*)
②Gire o punho no sentido horário e retire o conjunto da pega.
③Remonte na ordem inversa.
④Coloq ue a tampa de rosca do punho.

●Estilo de tampa fixa
①Gire a tampa de rosca do punho(*) sentido anti-horário e retire a tampa de rosca do punho.
②Remova a manivela e coloque-a no lado direito. Substitua a tampa de rosca do punho no lado esquerdo.
③Aperte a tampa de rosca do punho girando no sentido horário.

* Existem alguns modelos que requerem uma mudança do eixo da pega quando mudar a posição da manivela.
* Ao instalar a manivela, rode o cano do eixo da manivela para o aproximar da haste da manivela antes de apertar a tampa do parafuso da manivela. Caso permaneça um espaço, não será possivel apertar completamente a tampa, o que causará folga na manivela. Além disso, se a tampa for demasiado apertada, pode danificar a rosca e, na pior das hipóteses, pode não ser possivel instalar a tampa.

■Bobinar a linha
①Coloque o carreto na cana
②Aperte o Drag
③Amarre a linha no carreto e depois use adesivos para fixar a linha.
④Gire a manivela uma volta para começar a enrolar a linha. Em seguida, gire a "linha de bobina" vertical (ver foto) e coloque pressã o sobre a "Linha de bobine", continue a enrolar sob tensão até a bobine estar cheia.
* Vedante de batente
Um vedante de batente é incluido como acessório com alguns produtos.Utilize-o quando começar a enrolar a linha na bobine.

●Limite sugerido da capacidade da bobine
As nossas bobinas reduzem a folga quando lançar. Para obter um desempenho de 100%, bobine a linha até "linha de setas". Não enrole muita linha na bobine.

■ Marcador de linha de suporte
Há marcadores de bobine para ajudá-lo a aplicar a linha de apoio. Cada marcador mostra 1/3 do volume da bobine.
* Existem alguns modelos que não possuem um marcador de linha de suporte.

■Como ajustar a forma de linha na bobine
A. Definição no momento de bobinar
B. Para definir a enrolar mais para trás Aumentar o número de anilha (*) sobre o eixo bobina
C. Para definir a enrolar mais para a frente Reduzir o número de anilha (*) sobre o eixo bobina

■Ajuste de tensão do Drag
Ajuste de tensão do Drag permite a bobine rodar e prevenir a quebra de linha, quando um peixe a puxa forte.
①Montar o carreto na cana e passar a linha através dos passadores.
②Com o Anti-reverso armado, puxar a linha, tal como indicado no diagrama, e ajustar o aperto do botão do Drag (*). Girando o botão de drag em sentido horário aumentará a tensão , e inverte irá diminuir.
③Como regra geral, ajustar a tensão do Drag de modo a que a linha começa a sair da bobine imediatamente antes do ponto de ruptura. Além disso, aperte sempre o botão do Drag ao fazer um lançamento longo, pois o Drag pode escorregar e resultar em lesões da mão ou dedos sobre a linha.

■Lançar
①Pegue a linha com o dedo. Fig. 1.
②Abra a asa de cesto na posição que é mostrada na Fig. 2.
③Balance a cana e lance.
* Por favor, aperte o drag, o suficiente quando lançar. Se o drag estiver muito solto, existe a possibilidade de cortar o seu dedo pelo girar da bobina.

■Remoção da bobine & fixação
●Remoção
Basta girar o botão do Drag para a esquerda.
●Fixação
Rode lentamente a bobine para a esquerda e para direita, até 90°, enquanto a desliza para o eixo da bobine até que o eixo da bobine tenha passado completamente pela bobine. prenda-a girando o botão do Drag no sentido horário.

Precauções relativas ao armazenamento

Após o uso num ambiente de água salgada e antes de guardar o carreto, remover o sal residual e secar completamente de acordo com os pontos observados em Manutenção básica para o uso em ambiente s de água salgada.

①Sem pre retire o carreto da cana antes do armazenamento. Se o carreto é lavado enquanto montado na cana, a água do mar que se acum ulou no porta carretos e no carreto, muitas vezes, permanecem mesm o após enxaguar.

②Use um chuveiro para lavar, etc, sob baixa pressão para lavagem com água doce e remova a água salgada e a sujidade no exterior do carreto.
(Fig.a)* Evite água quente, pois pode também lavar a massa. Pela mesma razão, o carreto não pode ser imerso em água. Evitar a lavagem a alta pressão, uma vez que vai empurrar o sal e os detritos para o carreto.

③Secar evitando a luz solar directa, deixe secar numa área sombreada depois de completamente drenar toda a água.(Fig.b)
* Nessa altura, a bobine pode ser removida sem problemas.
* Exposição à luz solar directa ou a ar quente de um secador pode provocar condensação de no interior da armação.

④Use óleo e massa correctamente, conforme indicado em pontos ilustrados abaixo. O uso de lubrificantes spray não-Shimano que contém limpadores e desengordurantes que pode realmente remover a massa e óleo que protege o carreto e pode causar corrosão prematura ou danos aos carretos. Não coloque óleo no drag.

《Injecção de óleo》
●Não coloque massa dentro do rolamento de rodizio ou spray dentro do rotor. O anti-reverso pode não funcionar correctamente.
●Pon tos exigindo Lubrificante

● : Óleo ■ : Massa ▲ : Óleo ou massa

* A imagem é diferente do produto real.

⑤Precauções relativas ao armazenamento
Sempre remova o carreto da cana antes do armazenamento. Deixando o seu carreto num espaço fechado (por exemplo mala do carro ou compartimento de um barco) em condições extremamente quentes e húmidas, pode comprometer a sua capacidade de resistir aos efeitos da corrosão. Seque o carreto bem e mantenha-o num local bem ventilado.

《Vídeo sobre a manutenção》
Este vídeo contém informações sobre o método de limpeza, entre outros assuntos.
Pode ser visualizado aqui.

Anweisungen zur Handhabung ※Die Abbildung entspricht eventuell nicht dem vorliegenden Produkt.

■Verwendung der Rücklauf-sperre
※Nur bei bestimmten Modellen vorhanden.

●ON Die Kurbel kann nur vorlaufend drehen.

●OFF Die Kurbel kann vorlaufend und rücklaufend drehen.

■Ums tellen der Kurbelposition von link s nach rechts
●Ein schraubbare Kurbel
①Entfernen Sie die Kurbeleinschraubkappe.(*)
②Drehen Sie die Kurbel im Uhrzeigersinn, bis sie abgenommen werden kann.
③Bringen Sie sie in umgekehrter Reihenfolge wieder an.
④Setzen Sie die Kurbeleinschraub-kappe wieder auf.

●Ausführung mit fester Kappe
①Dehen Sie die die Kurbeleinschraubkap-pe(*)im Gegenuhrzeigersinn und nehmen Sie die Kurbeleinschraubkappe ab.
②Entfernen Sie die Kurbel und setzen Sie sie an der rechten Seite an. Bringen Sie die Kurbeleinschraub kappe an der linken Seite an.
③Ziehen Sie die Kurbeleinschraub-kappe durch Drehen im Uhrzeiger-sinn fest.
*Bei manchen Modellen muss die Kurbelspindel gewechselt werden, we nn Sie die Kurbelposition umstellen.

* Drehen Sie bei der Installation der Kurbel die Kurbelspindel, um sie vor dem Festziehen der Schraubkappe nahe an die Spindel der Kurbel zu stellen. Falls ein Abstand vorhanden ist, lässt sich die Schraubkappe nicht vollständig anbringen, so dass an der Kurbel ein Spiel auftritt. Falls die Kappe zu stark festgezogen wird, kann das Gewinde beschädigt werden und im schlimmsten Fall lässt sich die Kappe nicht mehr anbringen.

■Schnu rverlegung
①Bringen Sie die Rolle an der Angelrute an.
②Ziehen Sie die Bremse fest.
③Verknoten Sie die Schnur auf der Spule und sichern Sie die Schnur dann mit Klebeband.
④Drehen Sie die Kurbel ein ganzes Mal, um die Schnur anzuwickeln. Drehen Sie dann die"Schnurspule" senkrecht (siehe Bild) und üben Sie Druck auf die "Schnurspule" aus, während Sie gleichzeitig unter Spannung weiter bespulen, bis die Spule voll ist.
* Anschlagsdichtung
Bei gewissen Produkten ist eine Anschlagsdichtung im Zubehör vorhanden. Beim Aufwickeln der Schnur auf die Spule verwenden.

●Empfohlene Grenze der Spulenkapazität
Un sere Spulen sind so ausgelegt, dass es beim We rfen nur zu minimalem Backlash kommt. Sichern Sie sich 100%-ige Leistung, indem Sie d e Schnur nur bis zur "Pfeillinie" aufwickeln. Besp ulen Sie die Spule nicht mit zu viel Schnur.

■ Nachschnurmarkierung
Die Spule ist mit Markierungen versehen, die den Einsatz von Nachschnur erleichtern. Jede Markierung enttspricht 1/3 des Spulenvolumens.
*Manche Modelle weisen keine Nachschnur-markierungen auf.

■ Korrektur der Schnurform auf der Spule
A. Einstel lung ab Werk
B. Einstellung für vermehrtes Bespulen der Hinterseite Erhöhen Sie die Anzahl der Scheiben(*)auf der Spulenachse.
C. Einstellung für vermehrtes Bespulen der Vorderseite Verringern Sie die Anza hl der Scheiben (*)auf der Spulenachse.

■ Eins tellen der Bremskraft
Du rch Einstellen der Bremskraft sorgen Sie dafür, dass die Spule dreht und die Schnur nicht reisst, wenn ein gehakter Fisch ha rt an der Schnur zieht.
①Brin gen Sie die Rolle an der Angelrute an und fädeln Sie die Schnur durch die Ringe.
②Aktivieren Sie die Rücklaufsperre un d ziehen Sie dann an der Schnur, wie abgebildet, und stellen Sie den Widerstand am Bremsknopf (*) Drehen des Bremswiderstand im Uhrzeigersinn wird die Spannung vermehren, und wird umkehren, es zu verringern.
③Stellen Sie den Bremswiderstand generell so ein, dass die Schnur erst kurz vor Erreichen des Schnurbruch-moments abgezogen wird. Ziehen Sie außerdem vor einem Weitwurf immer den Bremsknopf an, da die Bremse sonst rutschen könnte und die Hand oder Finger an der Schnur verletzt werden könnten.

■Werfen
①Erfassen Sie die Schnur mit dem Finger. Abb. 1.
②Öffnen Sie den Bügel an der i n Abb. 2 dargestellten Stelle.
③Schwi ngen Sie die Angelrute und werfen Sie aus.
* Ziehen Sie vor dem Werfen die Bremse ausreichend an. Falls die Br emse zu lose eingestellt ist, könnten Sie sich an der drehenden Spule den Finger verletzen.

■Entfernen und Einsetzen der Spule
●Entfernen
Drehen Sie einfach den Bremsknopf im Gegenuhrzeigersinn.
●Einsetzen
Die Spule beim Einstecken auf die Spulenspindel langsam um bis zu 90 Grad nach links und rechts drehen, bis die Spule vollständig auf die Spindel eingesetzt ist. und sichern Sie sie dann, indem Sie den Bremsknopf im Uhrzeigersinn drehen.

Vors ichtsmaßregeln zur Aufbewahrung

Nach dem Einsatz in Meerwassernähe sollten Sie die Rolle vor dem Verstauen von Salzspuren befreien und gründlich trocknen lassen, gemäß den Anweisungen unter "Allgemeine Pflege bei Einsatz in Meer wassernähe".

①Nehmen Sie die Rolle vor dem Verstauen immer von der Angelrute ab. Falls die Rolle abgespült wird, während sie noch an der Angelrute angebracht ist, könnte das in Rollenhalterkappe und Rollenfuß angesammelte Meerwasser auch noch nach dem Absspülen des Meer wassers zurück bleiben.

②Absp ülen : Spülen Sie die Rolle unter der Brause und niedrigem Wasser druck mit Süßwasser ab, um Reste von Salz und Sand von der Ro llenoberfläche abzuspülen.(Abb.a)
"Verwenden Sie kein warmes Wasser, da sonst auch das Schmierfett mit abge waschen wird. Aus demselben Grund so llte die Rolle auch nicht in Wasser gelegt werden. Waschen Sie die Rolle nicht unter Einsat z von hohem Wasserdruck, da sonst Salz und Sand wieder in die Rolle zurück ge drückt werden.

③Trocknen :Lassen Sie die Rolle nicht unter direkter Sonneneinstrahlung trocknen, sondern im Schatten, nachdem zuvor jegliches Wasser ablaufen konnte. (Abb.b)
"Die Spule lässt sich jetzt einfach entfernen.
"Unter direkter Sonneneinstrah-lung oder Warm luft von einem Föhn könnte es im Gehäuseinnern zu Kondensation kommen.

④Öl und Schmierfett : Wenden Sie Öl und Schmierfet t korrekt an den nachstehend angezeigten Stellen an. Sprühfette anderer Marken außer Shimano enthalten eventuell Reinigungschemikalien und Entfettungsmittel, welche das zum Schutz der Rolle enthaltene Schmierfett und Öl en tfernen könnten und somit frühe Korrosion und Beschädigung der Rolle ve rursachen würden. Füllen Sie kein Öl in die Bremse.

《Öleinspritzung》
●Bringen Sie kein Schmierfett in das Innere der Rollenlager ein und spritzen Sie kein Öl in den Rotor. Die Rücklaufsperre würde sonst nicht mehr ordnungsgemäß funktionieren.
●Zu schmierende Stellen

● : Öl ■ : Schmierfett ▲ : Öl oder Schmierfett

* Die Abbildung entspricht eventuell nicht dem vorliegenden Produkt.

⑤Vorsichtsmaßregeln zur Aufbewahrung
Nehmen Sie die Rolle vor dem Verstauen grundsätzlich von der Angelrute ab. Lassen Sie die Rolle nicht unter extrem heißen, feuchten Bedingungen in gesc hlossenen Behältern liegen (z.B. Fahrzeug-Kofferraum oder Staufach, St auraum auf Boot), da sonst die Korrosionsresistenz der Rolle beeinträchtigt wü rde. Trocknen Sie die Rolle immer gut ab und bewahren Sie sie an einem gut belüfteten Ort auf.

《Video zur Wartung》
Dieses Video enthält Informationen über die Reinigungsmethode usw.
Dieses Video kann hier angeschaut werden.